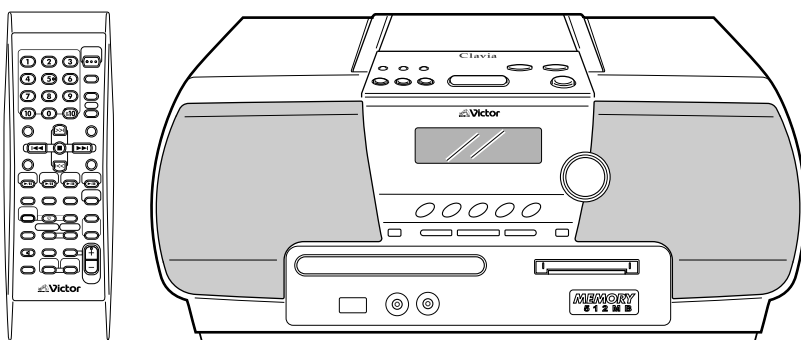
取扱説明書

はじめに
準備
基本操作
聞く
録音する
編集する
便利な機能
その他

CD-MDポータブルシステム

型名 RD-M2-S/-W/-H/-P

Clavia
クラビア

MDLP

MEMORY 512MB

MP3/WMA PLAY BACK

デモ表示について

電源コードを家庭用コンセントに接続すると表示窓が点灯し、デモ表示になります。

デモ表示をしないようにするには、電源「切」のとき

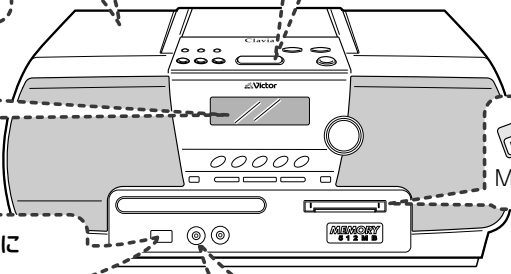
本体の カラー/デモ

2秒以上押す

「DEMO CLEAR（デモ クリア）」が表示されデモ表示の動作はしません。この状態にしてからお使いください。

詳しくは ***11*** ページをご覧ください。

ーお買い上げありがとうございますー

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に *4* ～ *6* ページの「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

（Clavia **とは、ドイツ語の「鍵盤楽器」の意からの造語です**）

LVT1570-001C

こんなことができます

お好みの曲を 最大250曲まで 保存（CD約25枚分）
※録音時間モード「LP」時
512MBメモリー内蔵
メモリーに録音する（☞*28*、*38*）

お目覚めに便利な
スヌーズ機能（☞*57*）

見やすい
文字拡大表示
（☞*58*）

MDに保存
MDに録音する（☞*32*）

デジタルオーディオプレーヤー*に
高速録音（MOVE）
USB接続機器に録音する（☞*36*、*37*）
* 本機で使用できるデジタルオーディオプレーヤーはMicrosoft® Windows® Media Playerで音楽ファイルを管理でき、USBマスストレージクラス対応の機器に限ります。ただしすべてを保証するもではありません。

デジタルオーディオプレーヤーなどを
つないで再生するだけですぐ聞ける
QPリンク再生（☞*24*）

本書の見かた

- 主にリモコンのボタンを使って操作説明しています。本体に同じマークのボタンがある場合には、本体のボタンもお使いいただけます。
- 本文中のボタン名は、数字ボタン以外は [ボタン名] で表示しています。
- 内蔵されているメモリーを、本書では「メモリー」と表現しています。
- 本書内のイラストは、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書で説明している以外の方法でも操作できる場合があります。

アイコンについて

CD：音楽CDに関する操作説明
MP3/WMA：MP3/WMAファイルのCD-R/CD-RWに関する操作説明
- 本書内ではMP3/WMAディスクと表現しています。

MD：MDに関する操作説明
メモリー：内蔵メモリーに関する操作説明
USB：USB端子に接続した機器に関する操作説明
ラジオ：FM、AMラジオ放送に関する操作説明
LINE：LINE端子に接続した機器に関する操作説明
☞：参照するページを示す

付属品の確認

リモコン（1個）
RM-SRDM2-S：
RD-M2-SまたはRD-M2-H用
RM-SRDM2-W：
RD-M2-WまたはRD-M2-P用

単3形乾電池（2本）
（リモコン動作確認用）

電源コード（1本）

AMループアンテナ（1個）

もくじ

安全上のご注意 ーはじめにお読みくださいー

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	⚠注意
● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。	● この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

● 絵表示の説明

注意をうながす記号

⚠警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐに使用をやめる。

- 煙が出ている、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

すぐに電源を「切」にし、必ず電源プラグをコンセントから抜く。異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

風呂場では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取り除いてください。

本機の上に水などの入った容器を置かない。

花びん、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

⚠警告

交流100V(ボルト)以外の電源電圧で使用しない。

表示された電源電圧以外では、火災・感電の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10cm 以上離す

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

置き場所に注意する。

次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

移動するときは、接続したコードや電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。電源を切る前に音量(ボリューム)を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

⚠注意

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

３年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災･けがや周囲を汚す原因となることがあります。
次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)を間違えない
- 電池のプラス(＋)とマイナス(－)をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

もし、電池が液もれをしてしまったときは、リモコンの内部についた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

欧州連合のリサイクルマークです。

各部の名前

本体

表示窓(ディスプレイ)

ランダム表示(☞19)
FMステレオ表示(☞14)
プログラム表示(☞20、21)
スヌーズ表示(☞57)
スリープタイマー表示(☞54)
タイマーモードの表示(☞54、55)
スーパーバスプロ表示(☞13)
グループ表示(☞22、23)
FMモノラル表示(☞14)
タイトルサーチ表示(☞23)
リピート表示(☞18)
MP3/WMAファイル表示
MDの
録音時間表示
高速録音表示
グループ録音表示
メモリー/USBの
録音時間表示
高速録音表示

1234 REC SLEEP PRGM SNOOZE RAMDOM STEREO GROUP MONO SEARCH ALL
SOUND LIFTER α SOUND BASS MP3 WMA
CD MD REC MEMORY REC USB REC
MD SPLP24 HIGH GR SPLP HIGH A.STANDBY QPLink

サウンドリフター表示(☞13)
αサウンド表示(☞13)
文字情報表示部
QPリンク表示(☞24)
オートスタンバイ表示(☞58)

CD表示(☞16)
CD ：停止中点灯
再生中、一時停止中点滅

MD表示(☞17)
MD ：停止中点灯
再生中、録音中点滅
REC ：MD録音中点滅

MEMORY表示(☞17)
MEMORY ：データ有り時点灯
再生中、録音中点滅
REC ：メモリー録音中点滅

USB表示(☞18)
USB ：USB接続時点灯
USB接続機器再生中、録音中点滅
REC ：USB接続機器録音中点滅

各部の名前（つづき）

リモコン（RM-SRDM2）

電源ボタン（☞**13**）

表示／文字ボタン（☞**25**）

キャンセル（CANCEL）ボタン（☞**20、41、43、44、46、48、49、54、56**）

セット（SET）ボタン（☞**12、28、30、36～56**）

エンター（ENTER）ボタン（☞**28、30、36～53**）

グループスキップボタン（>>I、I<<）（☞**17～19、22、23、39～42**）

マルチコントロールボタン
CD、MD、メモリー、USB（☞**28～39**）
ラジオ（☞**14**）
I◀◀／▶▶I （曲の頭出し、早送り／早戻し）
■ （停止）

タイトルサーチボタン（☞**23**）

ソース（音源）切換ボタン（☞**14、16～18**）

カラーモードボタン（☞**59**）

ディマーボタン（☞**59**）

低音／高音ボタン （☞**13**）

音量ボタン（☞**13**）

サウンドリフターボタン（☞**13**）

αサウンドボタン（☞**13**）

数字（1～10、0、≧10）ボタン（☞**12、15、18、20、21、40～43、46～50、55、56**）

オートプリセット（0）ボタン（☞**15**）

タイトル／編集ボタン（☞**40、42～49**）

グループタイトル／編集ボタン（☞**44、45、50～53**）

再生／FMモードボタン（☞**14、19、20**）
リピートボタン（☞**18**）
QPリンクボタン（☞**24**）

スヌーズボタン（☞**57**）
時計／タイマーボタン（☞**12、54**）
スリープボタン（☞**54**）

オートスタンバイボタン（☞**58**）
録音スピードボタン（☞**28、30、32**）
録音モードボタン（☞**28～34**）

お知らせサウンドボタン（☞**13**）
スーパーバスプロボタン（☞**13**）

文字サイズ標準／拡大ボタン（☞**58**）

リモコンの乾電池の入れかた

リモコン内部の表示に極性（＋、－）を合わせて正しく入れます。
（－）側から先に入れてください。

ご注意

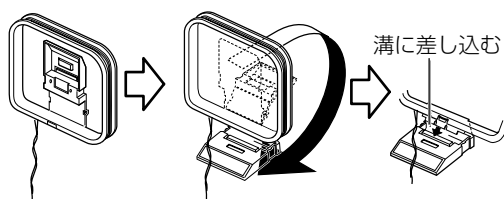
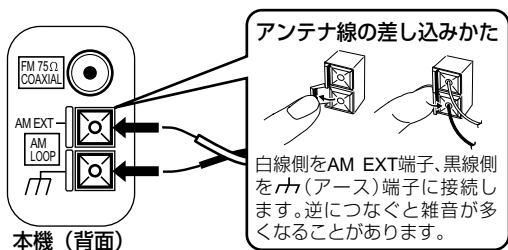
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換してください。
- 乾電池は、「**安全上のご注意（☞6）**」をお読みの上、正しくお取り扱いください。

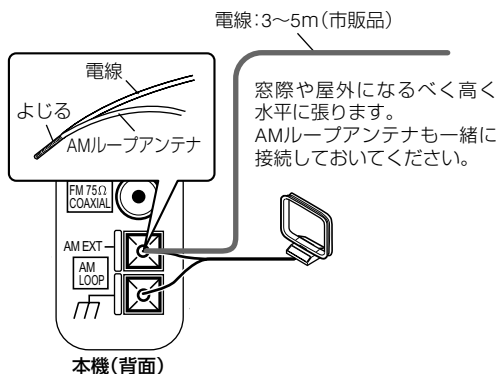
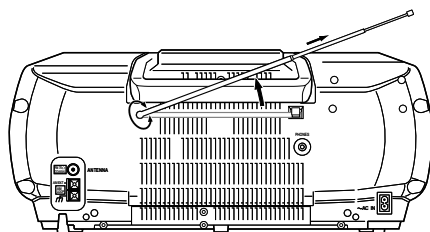
リモコンの操作

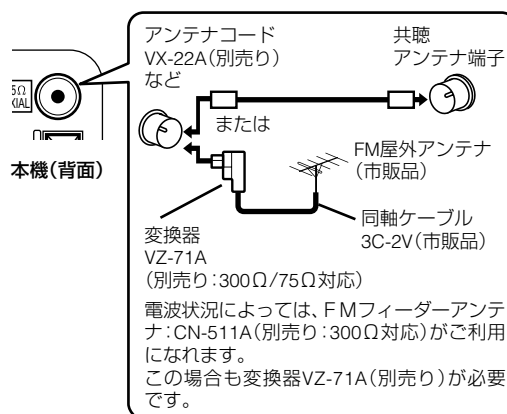
- リモコンを使うときは、本体正面に向けて操作してください。
- 操作が可能な距離は本体のリモコン受光部から約5m以内です。
- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

接続 ―接続が終わるまで電源は入れないでください。―

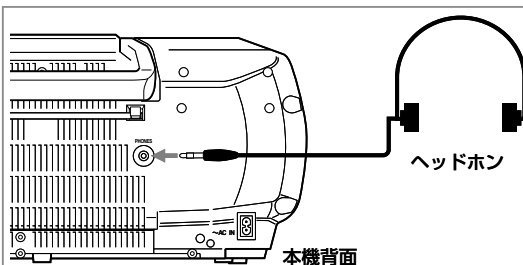
AMアンテナの接続と調節

1. AMループアンテナ(付属品)を組み立てます。

2. アンテナ線を接続します。

3. AMループアンテナを左右に回して最も受信状態のよい方向に向けて置きます。AMループアンテナは、本体からできるだけ離して置いてください。

■ AMループアンテナではうまく受信できないとき

FMアンテナの調節

ロッドアンテナを伸ばして、最もよく受信できるように長さ、角度を調節します。

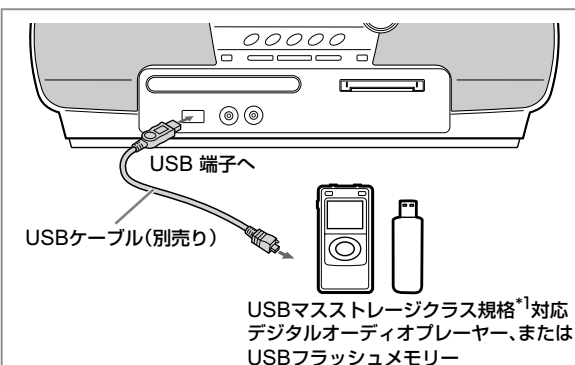
■ ロッドアンテナではうまく受信できないとき

付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよび変換器の取扱説明書を参照してください。

ヘッドホンの接続

市販のヘッドホンを接続します。

● ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

接続（つづき）ー接続が終わるまで電源は入れないでください。ー

USB 端子の接続

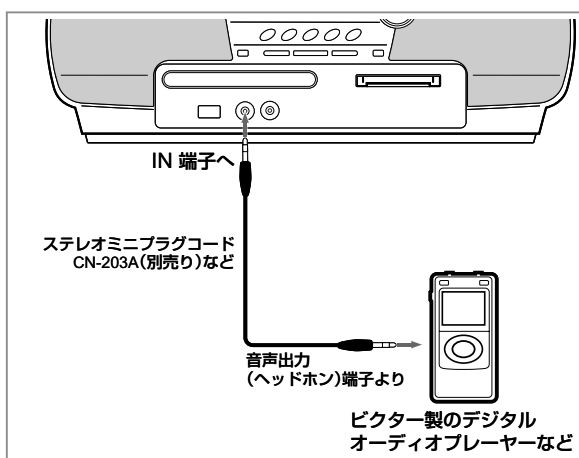
USBケーブルを使って、本体前面のUSB端子とデジタルオーディオプレーヤーやUSBフラッシュメモリーを接続します。

- 接続した機器をはずすときは、本機の動作が停止していることを確認してからはずしてください。
  当社製デジタルオーディオプレーヤーXA-C109またはXA-C59をお使いのときは「XA-C109/XA-C59を接続すると」(☞**61**)をご覧ください。
  再生中、録音中および編集中ははずさないようにしてください。
- メモリーから高速でデータの移動ができます。
  (☞**35**～**37**)
- 本機とデジタルオーディオプレーヤーなどを接続するときは、USBケーブルで直接つないでください。USBハブには対応していません。
- 本機は、USBカードリーダーには対応していません。
- USBマスストレージ対応のデジタルオーディオプレーヤーでも機器によっては、再生までに時間がかかる場合や、再生できない場合があります。
- 接続した機器の使いかたについては、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

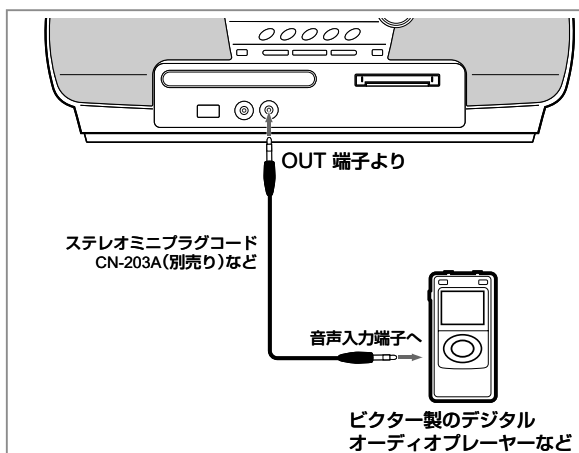
*1 USB機器の規格の1つです。パソコンのUSB端子に接続した際に、特別なドライバー、アプリケーションなどを必要とせずに外部メモリーとして扱うことができます。

お知らせ

- 本機とデジタルオーディオプレーヤーなどを接続して使用しているときに、デジタルオーディオプレーヤーなどのデータが消失あるいは損傷した場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- すべてのUSBマスストレージクラス規格対応の機器に対して、動作や電源供給を保証するものではありません。

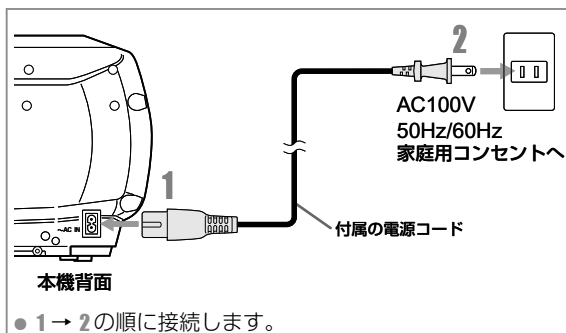
LINE IN端子の接続

本機でデジタルオーディオプレーヤーや他のオーディオ機器の音声を聞くときに、市販のステレオミニプラグコードで接続します。

LINE OUT端子の接続

本機の音声をデジタルオーディオプレーヤーや他のオーディオ機器に録音するときに、市販のステレオミニプラグコードで接続します。

- デジタルオーディオプレーヤーによっては音声入力端子がない機種もあります。
- 本機のソース(音源)が「LINE」以外の場合に、音声の録音ができます。

電源コードの接続

すべての接続が終了してから接続してください。

● 1 → 2 の順に接続します。

お知らせ

- 電源コードを紛失したり電源コードが断線したときは、お買い上げの販売店で別売りの電源コード：CN-325A(黒)をお買い求めください。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全および節電に心がけてください。(電源が切れていても、電源コードが接続されていると約0.9Wの電力を消費します)

ご注意

- 形状の違いによる故障や事故を防止するため、指定以外の電源コードは絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードは、本機以外の機器には使用しないでください。
- 本機を持ち運びするときは
電源コードやアンテナ線、他の機器との接続コードを事前にはずし、ハンドルを持って運んでください。
特にFM用屋外アンテナを接続しているときは、ご注意ください。
- 電源コードをコンセントから抜いた状態や停電が20分以上続くと、時計の設定は取り消されます。またタイマー予約の内容は、停電状態になると取り消されます。復旧したら合わせ直してください。

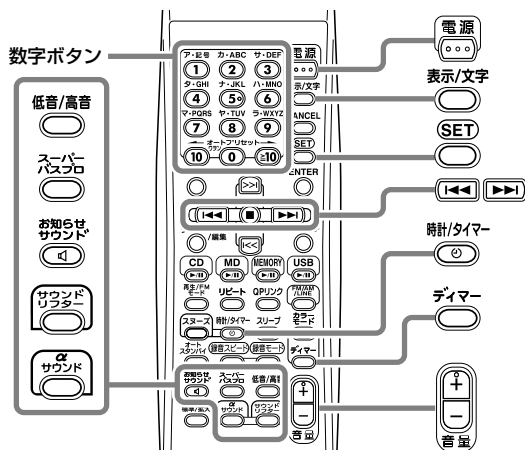
表示窓のデモ表示について

本機ではデモ表示機能があり、電源コードをコンセントに接続すると自動で電源「**入**」になり「HELLO → DEMO START!」表示のあと本機の機能などが表示窓に表示されます。本機のいずれかの操作をすると、表示窓に「DEMO OFF」と表示され、デモ表示は解除されます。この場合、電源コードを抜き差ししたり停電があったときは、再びデモ表示になります。

デモ表示の動作に入らなくするには

(通常はこの状態でお使いください)

1. **[電源]** を押して電源を「**切**」にする
2. 本体の **[カラー／デモ]** を2秒以上押す
   - 「DEMO CLEAR」が表示され、電源コードを抜き差ししてもデモ表示には入らなくなります。
   - デモを表示させるときは、もう一度同じ操作をします。

基本操作

時計を合わせる

電源が「**入/切**」どちらの場合でも操作できます。

1 時計/タイマー を押す

0:00 SUN.

2 「時」を合わせる

⏮ または ⏭ を押して選ぶ

13:00 SUN.

- 押し続けると、時刻表示が連続して変わります。
- 時刻は数字ボタンでも合わせることができます。右下の「**数字ボタンの使いかた**」をご覧ください。

3 設定する

SET を押す

13:00 SUN.

- 点滅が「**分**」に移動します。

4 「分」を合わせ、設定する

- 手順 2、3 と同じ操作で設定します。
- 点滅が「**曜日**」に移動します。

5 「曜日」を合わせ、設定する

- 手順 2、3 と同じ操作で設定します。
- 曜日は次のように変わります。

SUN.(日)↔MON.(月)↔TUE.(火)↔WED.(水)↔THU.(木)↔FRI.(金)
SAT.(土)

時刻を音で確認する

電源「切」のとき ディマー を押す

- お知らせサウンドが「**ON**」のとき、時刻を音階と音の回数でお知らせします。
  「**お知らせサウンドを設定する**」(☞**13**)
- 音の種類は3種類あります。

長い音 :「**0**」を示します
短い音 :「**1〜4**」を示します
短い連続5音 :「**5**」を示します。「**6**」以上は、この音の後に短い音が続きます。

例:時刻表示が「9:35(午前9時35分)」のとき
　4ケタの数「0935」とみなします。

「**0**」…長い音 (ド)
「**9**」…短い連続5音+短い音4回 (ミ)
「**3**」…短い音3回 (ソ)
「**5**」…短い連続5音 (ド)

時計を合わせ直すには

[時計/タイマー]を5回押す

- 時計を表示させ、手順 2 から操作します。

使用中に時計を表示させるには

[表示/文字]を繰り返し押す

- MDが入っているときと、入っていないとき、USBを接続しているときと、接続していないときで表示の順番が異なります。(☞**25**)

お知らせ

- 時刻、曜日を設定すると、設定した「**分**」の0秒から時計が動き始めます。
- 電源「**切**」で時計を合わせたときは、設定が終わると現在時刻と曜日の表示に変わります。
- 時計を合わせているとき、[CANCEL]を押すと「**時**」または「**分**」表示の点滅に戻せます。時刻を修正することができます。
- 月に1分程度のズレを生じます。定期的に時計を合わせ直してください。
- 20分以上の停電や電源コードが抜いてあったときは、時刻表示が取り消されます。このようなときは、時計を合わせ直してください。

数字ボタンの使いかた

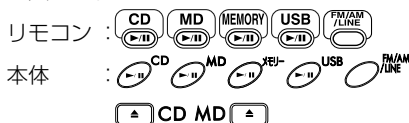
1〜10のとき :(1)から(10)を押す
11〜のとき :(≧10)を押してから(1)〜(9)、(0)を押す
例 3:(3)　13:(≧10)→(1)→(3)
20:(≧10)→(2)→(0)
125:(≧10)→(≧10)→(1)→(2)→(5)

電源を入れる／切る

を押す

- 電源が「**切**」の状態で、次のいずれかを押したときも電源が入ります。

リモコン：CD ►/II　MD ►/II　MEMORY ►/II　USB ►/II　FM/AM /LINE

本体　：►II CD　►II MD　►II メモリー　►II USB　FM/AM /LINE

▲ CD　MD ▲

本体の[**CD(▲)**]/[**MD(▲)**]以外を押したときはソース(音源)も切り換わります。ディスクやデータが入っているときは、再生が始まります。

音量を調節する

を押す

- 本体の[**音量つまみ**]を回しても調節できます。
- VOLUME 0～35の範囲で調節できます。

音質を調節する

低音/高音 を押す

- 押すごとに切り換わります。

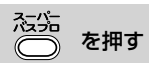
BASS　：低音を調節できます。
↓
TREBLE　：高音を調節できます。
↓
ソース(音源)の表示

4秒以内に

を押す

- −5～＋5の範囲で調節できます。
- 4秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

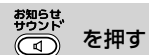
重低音を強調する

スーパーバスブロ を押す

- 押すごとに切り換わります。

S. BASS ON
↕
S. BASS OFF

- 「**ON**」のとき表示窓に ■BASS■ が表示され、メリハリの効いた重低音が楽しめます。

お知らせサウンドを設定する

ボタン操作の確認音や、録音終了音、編集時のエラー音などが鳴ります。

お知らせサウンド を押す

- 押すごとに切り換わります。

オシラセ サウンド OFF：確認音は鳴りません。
↕
オシラセ サウンド ON　：確認音がなります。
(お買い上げ時の設定)

- 確認音は、音量を"0"にしていたり、ヘッドホンを接続していても鳴ります。

サウンドリフターを使う

音像を上方向に拡大するとともに、音質の明瞭度も向上し臨場感ある再生音が楽しめます。

サウンドリフター を押す

- 押すごとに切り換わります。

S.LIFTER 1　：CDなどの音楽向き
S.LIFTRT 2　：1より音像を拡大したいとき
S.LIFTER 3　：2より音像を拡大したいとき
S.LIFTER OFF：サウンドリフター解除

- 「**OFF**」以外のとき表示窓に SOUND LIFTER が表示されます。

お知らせ

- 再生するソース(音源)によっては、再生音に違和感を感じることがあります。このようなときは別のモードを選ぶかサウンドリフターを解除してください。
- サウンドリフター機能は、録音される音声に影響しません。

α(アルファ)サウンドを使う

αサウンドで広がりのある音が楽しめます。

αサウンド を押す

- 押すごとに切り換わります。

α SOUND NATURAL (ナチュラル)：自然な音の広がりを実現します。
α SOUND SMOOTH (スムース)　：耳に快い音を実現します。
α SOUND DEEP (ディープ)　：さらに深い音の広がりを実現します。
α SOUND OFF (オフ)　：αサウンドを解除します。

- 「**OFF**」以外のとき表示窓に α SOUND が表示されます。

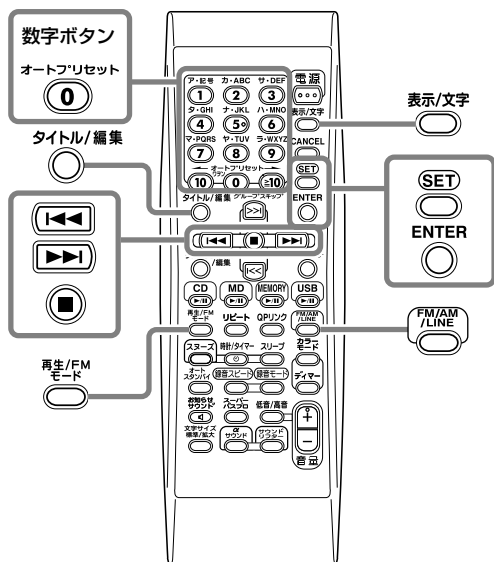
αサウンドとは

α(アルファ)波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのα DIMENSION SOUNDは、サウンド回路の要である左右差信号(L-R間接音)にα波周波数でゆらぎを与え(これをLFO変調といいます)、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

お知らせ

- サウンドリフターとαサウンドは、同時に設定することはできません。
どちらかを設定すると、片方は自動解除(OFF)されます。
- サウンドリフター、αサウンド機能は、録音される音声に影響しません。

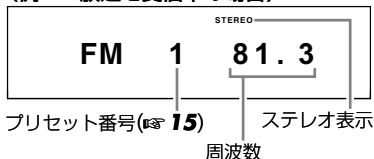
ラジオを聞く

FMまたはAMを受信することができます。

放送局を選ぶ

1 「FM」または「AM」を選ぶ

を繰り返し押して選ぶ

（例：FM放送を受信中の場合）

プリセット番号(☞**15**)　周波数　ステレオ表示

2 聞きたい放送局（周波数）を選ぶ

マニュアル選局

[⏮] または [⏭] を繰り返し押して選ぶ

本体のボタンで選ぶとき

1. [■] を押して、「MANUAL TUNING」を選ぶ
   - 押すごとに「MANUAL」と「PRESET」が交互に表示されます。
2. [⏮] または [⏭] を繰り返し押す

オート選局

[⏮] または [⏭] を押し続ける

- 押し続けて周波数が変わり始めたら離します。放送を受信すると自動で止まります。
- 途中で止めたいときは、[⏭] または [⏮] を押します。

FMステレオ放送について

- FMステレオ放送を受信すると「STEREO」表示が点灯します。

FMモードの切り換え

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、音声をモノラル（「MONO」が点灯）にします。モノラル音声にすると、聞きやすくなることがあります。モードは [再生/FMモード] を押すごとに切り換わります。

FM MONO
↕
FM AUTO

お知らせ

- 本機は、テレビチャンネルの音声を受信することはできません。
- 本機はAMステレオ放送には対応していません。
- ロッドアンテナや付属のAMループアンテナでうまく受信できないときは、市販の屋外アンテナを使用してください。(☞**9**)

放送局を記憶させる（プリセット）

FMを最大30局、AMを最大15局まで記憶させることができます。FMとAMはそれぞれに操作します。

オート（自動）プリセット

FMまたはAMを受信中に

オートプリセット 0 を2秒以上押す

- 「AUTO PRESET」が表示されます。
- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 前に記憶された放送局であっても、新しく記憶された放送局が上書きされます。
- オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶された放送局が受信されます。

お知らせ

- FM放送のオートプリセットは、76.0 MHzから90.0 MHzの間で自動選局し、記憶します。
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。このようなときはマニュアルプリセットで選び直してください。

マニュアル（手動）プリセット

1 プリセットしたい放送局を受信中に

SET を押す

- プリセット番号が約5秒間点滅します。

2 プリセット番号が点滅している間に、記憶させたい番号を［数字ボタン］で入力する

- 「**数字ボタンの使いかた**」（☞*12*）

3 選んだ番号が点滅している間に

SET を押す

- 「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。

お知らせ

- FMモード（☞*14*）も記憶されます。
- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。
- 電源コードを抜いた状態（または停電）が24時間以上続くと、記憶させた放送局は取り消されます。再度記憶させてください。

放送局を呼び出す（プリセット選局）

記憶した放送局を呼び出します。

FMまたはAMを受信中に、［数字ボタン］を押す

- 呼び出したい放送局のプリセット番号を入力します。
- 「**数字ボタンの使いかた**」（☞*12*）

本体のボタンで選ぶとき

1.［■］を押して、「PRESET TUNING」を選ぶ

- 押すごとに「MANUAL」と「PRESET」が交互に表示されます。

2.［|◀◀］または［▶▶|］を押して、放送局のプリセット番号を選ぶ

放送局名を入力する

プリセット選局で受信中の放送局に、最大8文字の局名をつけることができます。

準備

- 「**放送局を呼び出す**」（上記）で、局名を入力したい放送局を選びます。

1 タイトル/編集 を押す

2 文字の種類を選ぶ

表示/文字 を押す

- 押すごとに［ ］が移動します。

3 局名を入力する

- 入力方法は「**文字入力のしかた**」をご覧ください。（☞*41*）

4 登録する

ENTER を押す

- 「STORED」と表示され、入力した局名が表示されます。

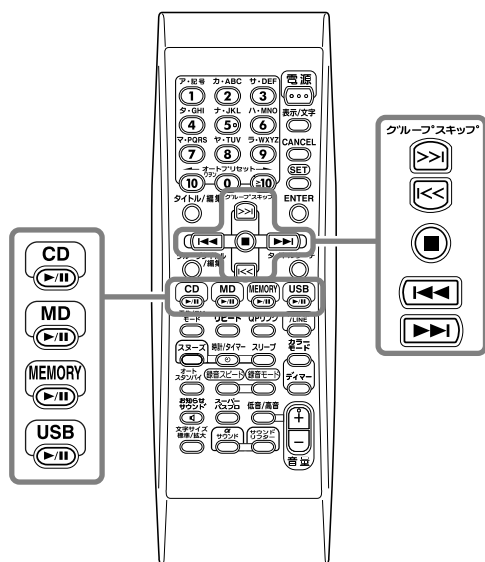
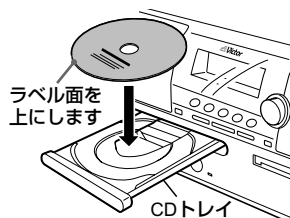
お知らせ

- 放送局名を入力したあと、あらためてオートプリセットやマニュアルプリセットを行うと、局名は削除されます。
- オート選局やマニュアル選局で聞いているときは、放送局名を入力できません。

聞く

本機で再生可能なディスク、ファイル、USB機器については、「**再生できるディスク、ファイル、USB機器**」(☞***60***)をご覧ください。

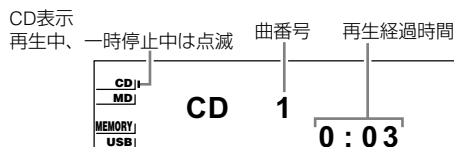
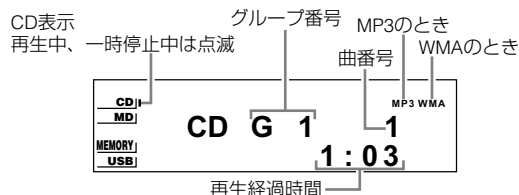
CDを聞く

準備

- 本体の[CD(▲)]押してCDトレイを出します。
- CDをCDトレイに置き、[CD(▲)]を押してCDトレイを閉じます。

8cmセンチCDは内側の凹部に置きます。

CD を押す

- 1曲目から再生し、全部の曲の再生が終わると自動停止します。

■ 再生中の表示

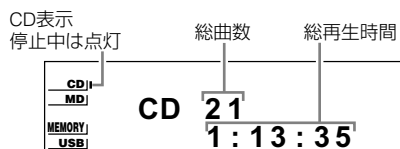
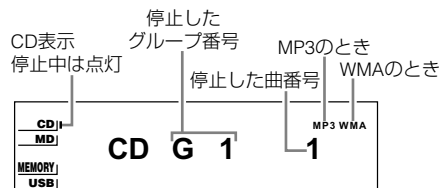
CDの場合

MP3/WMAディスクの場合

MP3/WMAディスクの場合

- 右上に「MP3」または「WMA」が表示されます。
- グループ番号とトラック番号が表示され、曲タイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。(スクロールされます)
- 再生中は表示窓にタグ情報(曲タイトル、アーティスト名、アルバム名)が表示されます。
  - 半角英数字、カタカナ以外の文字が含まれているときは、正しく表示されません。

再生を途中で停止するには

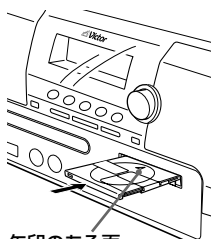
(■) を押す

■ 停止中の表示

CDの場合

MP3/WMAディスクの場合

お知らせ

- ディスクが入っている状態で表示窓に「CD NO DISC」と表示されたときは、☞***66***をご覧ください。

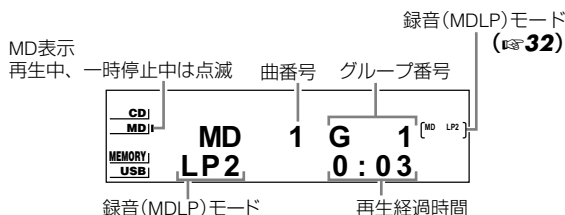
MDを聞く

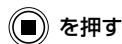
準備

- 電源を「入」にしてMDを挿入します。

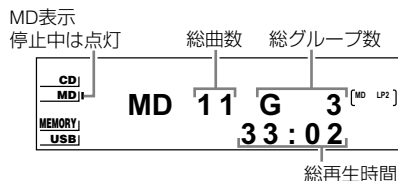
電源「切」のときはMDを入れないでください。無理に押し込むと故障の原因になります。

MD (►/II) を押す

- 1曲目から再生し、全部の曲の再生が終わると自動停止します。

■ 再生中の表示

- 曲タイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。（長いタイトルはスクロールされます）
- グループ分けされていないときは、グループ番号が「G ーー」と表示されます。
- MD表示が点灯または点滅しているときは、新しいMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因になります。

再生を途中で停止するには

(■) を押す

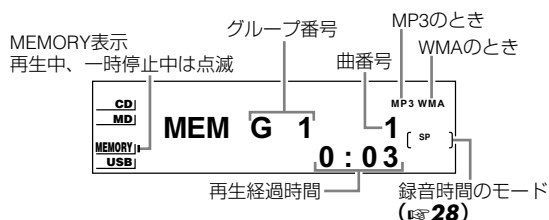
■ 停止中の表示

- ディスクタイトルがある場合は、タイトルが最初に表示されます。（長いタイトルはスクロールされます）
- グループ分けされていないときは、総グループ数が「G ーー」と表示されます。

メモリーの音声を聞く

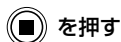
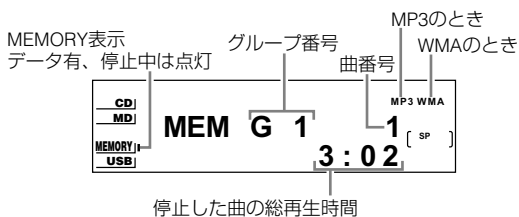
メモリーへの録音は☞ ***28***、***38*** をご覧ください。

MEMORY (►/II) を押す

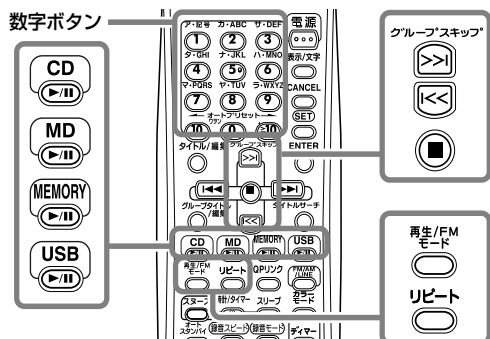
- 最後に選択していた曲の頭から再生し、残り全部の曲の再生が終わると自動停止します。

■ 再生中の表示

- ファイルネームが最初に表示されます。（長いファイルネームはスクロールされます）

再生を途中で停止するには

(■) を押す

■ 停止中の表示

- 総グループ数、総曲数、総再生時間は表示されません。

その他の操作

一時停止する	再生中に CD (►/II)、MD (►/II)、MEMORY (►/II)、USB (►/II) を押す。 ● もう一度押すと再生を再開します。
頭出し（スキップ）	I◄◄: 押すごとに前の曲の頭に戻ります。再生中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ►►I: 押すごとに次の曲の頭に移ります。
早送り・早戻し（サーチ）	◄◄: ►►: 再生中に押し続ける。
グループスキップ	I<<: 押すごとに前のグループに戻ります。 >>I: 押すごとに次のグループに移ります。
ディスクを取り出す	本体の [CD (▲)] または [MD (▲)] を押す。

USB接続した他の機器の音声を聞く

準備

- USB端子にUSBマスストレージ対応のデジタルオーディオプレーヤーやUSBフラッシュメモリーをつなぎます。（☞**10**）
- 当社製デジタルオーディオプレーヤーXA-C101またはXA-C51の音声を聞く場合（☞**61**）

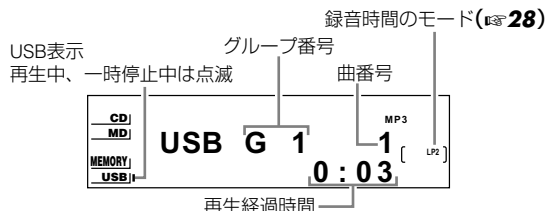
[USB] を押す

- 最後に選択していた曲の頭から再生し、残り全部の曲の再生が終わると自動停止します。
- 再生中、停止中に使えるボタンについては、「**その他の操作**」（☞**17**）をご覧ください。

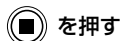
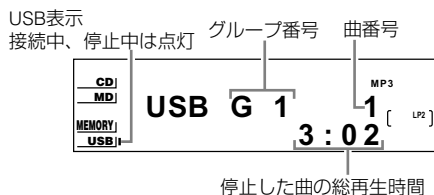
■ 再生中の表示

録音時間のモード（☞**28**）
USB表示
再生中、一時停止中は点滅
グループ番号
曲番号

USB G 1 1
0:03

再生経過時間

- ファイルネームが最初に表示されます。（長いファイルネームはスクロールされます）
  - 半角英数字、半角カタカナ以外の文字が含まれているときは、正しく表示されません。

再生を途中で停止するには

[■] を押す

■ 停止中の表示

- 総グループ数、総曲数、総再生時間は表示されません。

お知らせ

- 本機とパソコンをUSB接続しても、パソコンの音声を聞くことはできません。
- 本機の電源が「**入**」のときにUSB接続すると、USB機器に電源を供給します。

聞きたい曲を指定する
（ダイレクト選曲）

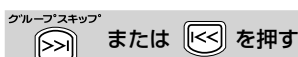
曲番号を指定して再生できます。

[数字ボタン] を押す

- 聞きたい曲を選びます。
- 「**数字ボタンの使いかた**」（☞**12**）

グループ内の聞きたい曲を指定する（グループ内ダイレクト選曲）

グループ内の曲番号を指定して再生できます。

1 グループ番号を選ぶ

2 [数字ボタン] を押す

- 聞きたい曲を選びます。
- 「**数字ボタンの使いかた**」（☞**12**）

リピート再生

聞きたい曲を繰り返し再生することができます。

停止中または再生中にリピートモードを選ぶ

[リピート] を繰り返し押す

- 押すごとに切り換わります。

（例：REPEAT ALLのとき）

REPEAT TRACK（⟲）：
1曲を繰り返し再生します。

REPEAT GROUP（GROUP ⟲）：
（MP3/WMAディスクのとき）選ばれているグループの全曲を繰り返し再生します。

REPEAT ALL（⟲ALL）：
全曲を繰り返し再生します。MD、メモリー、USBのグループ再生中（☞**22**）は、選ばれているグループの全曲を繰り返し再生します。

REPEAT OFF ：
リピート再生を解除します。

お知らせ

以下の操作をするとリピート再生は解除されます。

- 電源を「**切**」にする。
- CDのときは本体の [CD（▲）] を押し、MDのときは本体の [MD（▲）] を押す。
- USBのときはUSB接続機器をはずす。

ランダム再生

ランダム(無作為)な順序で再生することができます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

CDまたはMP3/WMAディスクのとき：[CD ►/II]→[■]を押す
MDのとき：[MD ►/II]→[■]を押す
メモリーのとき：[MEMORY ►/II]→[■]を押す
USBのとき：[USB ►/II]→[■]を押す

2 「RANDOM」を選ぶ

[再生/FMモード]を繰り返し押す

(例：MDのとき) ランダム表示

RAMDOM
MD RANDOM

3 再生する

CDまたはMP3/WMAディスクのとき：[CD ►/II]を押す
MDのとき：[MD ►/II]を押す
メモリーのとき：[MEMORY ►/II]を押す
USBのとき：[USB ►/II]を押す

ランダム再生を解除するには

停止中に[再生/FMモード]を繰り返し押して、「RANDOM」表示を消す

以下の操作をしてもランダム再生は解除されます。

- 電源を「**切**」にする。
- CDのときは本体の**[CD(▲)]**を押し、MDのときは本体の**[MD(▲)]**を押す。
- USBのときはUSB接続機器をはずす。

グループランダム再生

選んだグループ内の曲をランダム(無作為)な順序で再生することができます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

メモリーのとき：[MEMORY ►/II]→[■]を押す
USBのとき：[USB ►/II]→[■]を押す

2 聞きたいグループ番号を選ぶ

グループスキップ [>>|] または [|<<] を押す

3 「GROUP RANDOM」を選ぶ

[再生/FMモード]を繰り返し押す

(例：メモリーのとき) ランダム表示 グループ表示

RAMDOM GROUP
MEM GROUP RANDOM

4 再生する

メモリーのとき：[MEMORY ►/II]を押す
USBのとき：[USB ►/II]を押す

- 選んだグループ内の曲がランダムに再生されます。

グループランダム再生を解除するには

停止中に[再生/FMモード]を押して、「GROUP」および「RANDOM」表示を消す

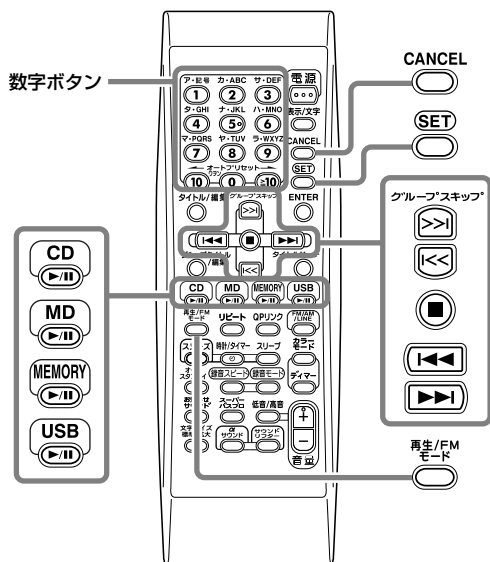
以下の操作をしてもグループランダム再生は解除されます。

- 電源を「**切**」にする。
- USBのときはUSB接続機器をはずす。

お知らせ

- 複数のソース(音源)の曲を組み合わせてのランダム再生はできません。
- 一度再生した曲は、再び選曲されません。
- ソース(音源)がCDまたはMDのときは、グループランダム再生はできません。

プログラム再生

CD　MP3/WMA　MD　メモリー　USB

プログラム(予約)して再生できます。

CD、MP3/WMAディスクまたはMDの場合

CD、MP3/WMAディスクは最大50曲、MDは最大32曲までプログラム再生できます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

CDまたはMP3/WMAディスクのとき：CD ►/II →■を押す

MDのとき：MD ►/II →■を押す

2 「PROGRAM」を選ぶ

再生/FM モード を押す

(例:CDのとき) プログラム表示

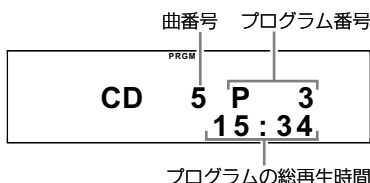
PRGM
CD PROGRAM

- MDのときは「MD PROGRAM」と表示されます。

3 曲番号を選ぶ

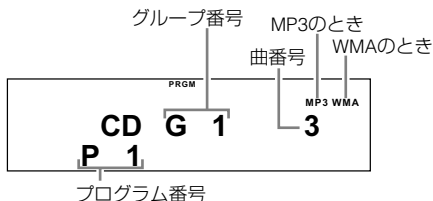
CDまたはMDの場合

[数字ボタン]を押して、曲番号を選ぶ

- 「数字ボタンの使いかた」(☞***12***)

- MDの場合、プログラムの総再生時間が2時間31分以上になると「--:--」と表示されます。

MP3/WMAディスクの場合

1. [数字ボタン]を押して、グループ番号を選ぶ
2. [数字ボタン]を押して、曲番号を選ぶ

- 手順1、2を繰り返し、プログラム再生する曲を選びます。

- プログラムの総再生時間は、表示されません。

4 再生する

CDまたはMP3/WMAディスクのとき：CD ►/II を押す

MDのとき：MD ►/II を押す

- プログラムできる曲数は、CDとMP3/WMAディスクは50曲、MDは32曲です。これ以上のプログラムはできません。プログラムしようとすると、「PROGRAM FULL」と表示されます。
- プログラムを間違えた場合、[CANCEL]を押すとプログラムした曲が削除されます。

メモリーまたはUSBの場合

最大99曲までプログラム再生できます。

■ プログラム登録をするには

1 プログラム登録したい曲を再生する

2 登録する

- 手順1、2を繰り返して、プログラム再生する曲を登録します。

■ プログラム再生するには

1 停止する

を押す

2 「PROGRAM」を選ぶ

3 再生する

- プログラムできる曲数は99曲です。これ以上のプログラムはできません。プログラムしようとすると、「PROGRAM FULL」と表示されます。

プログラム内容を確認するには

プログラム再生の停止中に、[⏮] または [⏭] を繰り返し押す

- 押すごとにプログラム内容が変わります。CD、MP3/WMAディスクおよびMDは、ここでプログラムを追加（最後の曲に）したり、削除（最後の曲を）することもできます。

プログラム内容を追加するには

CDまたはMDの場合

プログラム再生の停止中に、[数字ボタン] を押す

- 曲番号を選びます。

MP3/WMAディスクの場合

1. **プログラム再生の停止中に [数字ボタン] を押して、グループ番号を選ぶ**
2. **[数字ボタン] を押して曲番号を選ぶ**

メモリーまたはUSBの場合

1. **プログラム再生の停止中に [再生/FMモード] を繰り返し押して、通常モードにする**
   - プログラム再生モードを解除し、通常モードにします。
2. **「プログラム登録をするには」を行い、追加する**

プログラム再生モードを解除するには

停止中に [再生/FMモード] を押して、「PRGM」表示を消す

- プログラム内容は削除されません。

プログラム内容を削除するには

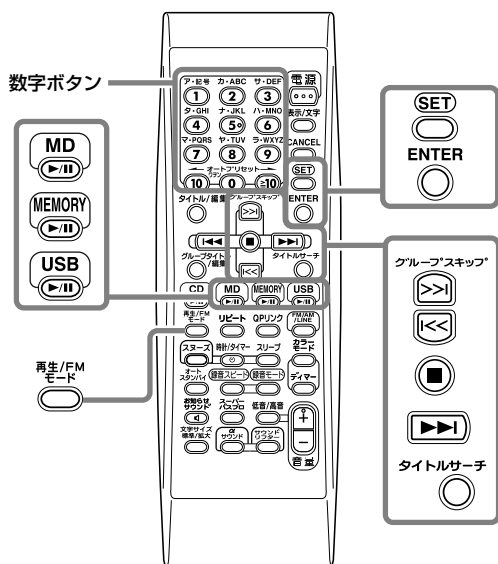
停止中に [CANCEL] を押す

- プログラムの最後の曲が削除されます。
- [CANCEL] を押し続けるとすべて削除されます。

以下の操作をしてもプログラム内容はすべて削除されプログラム再生も解除されます。

- 電源を「切」にする。
- CDのときは本体の [CD（▲）] を押し、MDのときは本体の [MD（▲）] を押す。
- USBのときはUSB接続機器をはずす。

グループ再生

MD メモリー USB

お好みのグループだけ再生できます。

1 ソース（音源）を切り換え、停止状態にする

MDのとき	：	MD →■を押す
メモリーのとき	：	MEMORY →■を押す
USBのとき	：	USB →■を押す

2 停止中に「GROUP」を選ぶ

再生/FMモード を繰り返し押す

（例：MDのとき）　グループ表示

GROUP

MD GROUP

- メモリーのときは「MEM GROUP」、USBのときは「USB GROUP」と表示されます。

3 聞きたいグループ番号を選ぶ

グループスキップ >>| または |<< を押す

- グループタイトルが最初に表示されます。（長いタイトルはスクロールされます）

4 再生する

MDのとき	：	MD を押す
メモリーのとき	：	MEMORY を押す
USBのとき	：	USB を押す

MDの場合

- 選んだグループ内の先頭の曲から再生が始まります。
- グループがないときは、「GROUP」表示が消え、通常の再生になります。

メモリーまたはUSBの場合

- 選んだグループ内の先頭の曲から再生が始まります。

選んだグループ内の曲がすべて再生されると、自動的に停止します。

グループ再生を解除するには

停止中に［再生/FMモード］を押して、「GROUP」表示を消す

以下の操作をしてもグループ再生は解除されます。

- 電源を「切」にする。
- MDのときは本体の［MD（▲）］を押し、USBのときはUSB接続機器をはずす。

お知らせ

- メモリーおよびUSBの場合、空のグループは再生時には表示されません。
  録音操作（☞**30**、**31**、**36**、**37**）、編集操作（☞**47**）のときに表示されます。
- USB機器ではグループに属さない曲は全て「G1」として再生されます。グループに属さない曲が無いときは再生時に「G1」は表示されません。

タイトルサーチ

MD メモリー USB

曲やグループのタイトルをサーチ(検索)し、再生できます。

1 ソース(音源)を切り換え、停止状態にする

MDのとき : [MD ►/II] →[■]を押す

メモリーのとき : [MEMORY ►/II] →[■]を押す

USBのとき : [USB ►/II] →[■]を押す

2 [タイトルサーチ] を押して選び [SET] を押す

- 押すごとに切り換わります。

TRACK T.SEARCH	曲のタイトルでサーチします。
GROUP T.SEARCH	グループのタイトルでサーチします。(MDはグループ分けされているときのみ有効)

3 [数字ボタン] を押してタイトルを入力する

(例:曲タイトルサーチのとき)

グループタイトルサーチのときは「GROUP SEARCH」と表示されます。

- [表示/文字]で、文字の種類を選びます。(☞40の手順2をご覧ください。)
- 5文字まで入力できます。
  例:「F」と入力したときは「F」、「Frien」と入力したときは「Frien」で始まるタイトルを曲番号順にサーチします。
- 入力方法は「**文字入力のしかた**」(☞**41**) をご覧ください。
- MDにて、タイトルが記録されていない曲やグループ(NO TITLE)をサーチしたいときは、何も入力しません。

4 [ENTER] を押す

- 「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると再生が始まります。
  再生が終わると自動で次のタイトルサーチが始まります。

- 空白(SPACE)も文字として扱われますが、空白(SPACE)の後ろに文字がないときは無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- 曲が見つからないときは「SEARCH END」と表示されます。

次の曲またはグループをサーチするには

次の曲をサーチする場合

[►►I] を押す

- 「SEARCH」と表示され、次のタイトルサーチが始まります。

次のグループをサーチする場合

[>>I] を押す

- 「SEARCH」と表示され、次のグループタイトルサーチが始まります。

タイトルサーチをやめるには

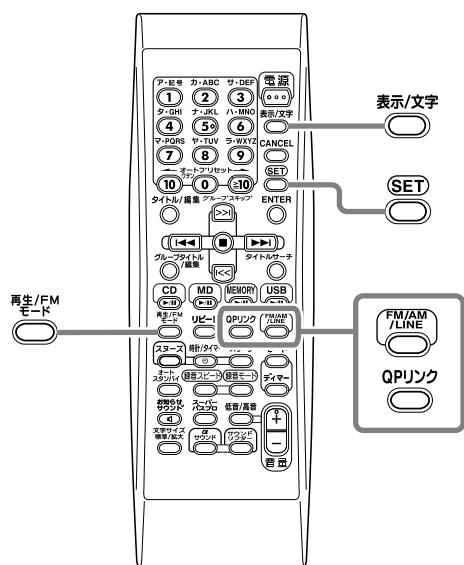
[タイトルサーチ] を押す

- ソースがMDのときは、タイトルサーチが解除され、再生中の曲の頭に戻って再生を続けます。
- ソースがメモリーまたはUSBのときは、タイトルサーチが解除され、再生中の曲で停止します。

SEARCH END

LINE接続した他の機器を聞く

LINE

準備

● LINE IN端子に他のオーディオ機器を接続します。（☞**10**）

1 「LINE」を選ぶ

FM/AM /LINE を繰り返し押す

LINE

2 他の機器の再生を始める

● 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

3 音量などを調節する

● 調節方法は「**基本操作**」（☞**13**）

音声入力レベルを調節する

LINE IN端子に接続された機器の音声入力レベルを調節することができます。

● ソース（音源）が「**LINE**」のとき操作します。

入力レベルが表示されるまで [SET] を押し続ける

LEVEL 1：LEVEL2でも音声入力レベルが大きいときに選びます。デジタルオーディオプレーヤー以外のオーディオ機器を接続しているときに選んでください。

LEVEL 2：LEVEL3で音声入力レベルが大きい時に選びます。

LEVEL 3：通常はこちらでお使いください。（お買い上げ時の設定）

QPリンク再生

LINE

QPリンク（Quick Portable Link）を使用すれば、LINE IN端子に接続した他の機器を再生するだけで、本機で聞くことができます。

準備

● LINE IN端子に他のオーディオ機器を接続します。（☞**10**）

1 QPリンクモードを「ON」にする

QPリンク を押す

● 押すごとに切り換わります。

QP Link ON ：QPリンク有効
（お買い上げ時の設定）

QP Link OFF ：QPリンク無効

QP Link ON
QPLink

QPリンク表示

● 他の機器からの音声を検出できるときに、「**QP Link**」が点灯します。

2 他の機器の再生を始める

● ソース（音源）が「**LINE**」以外のときは、自動的に「**LINE**」に切り換わります。電源が「**切**」のときは「**入**」になります。

音声が入力されると点滅します

● QPリンクでデジタルオーディオプレーヤーからの音声を聞いているときに他のソース（音源）を選ぶと、QPリンクが解除されます。このとき、30秒以上デジタルオーディオプレーヤーからの音声入力がない場合や、デジタルオーディオプレーヤーをLINE IN端子から抜き差しした場合、再度QPリンクがオンになります。

● QPリンクで他の機器からの音声を聞いているとき、電源を「**切**」にすると（タイマー機能による電源「**切**」も含む）、QPリンクは一時的に解除されますが、30秒以上他の機器からの音声入力がないと、再度QPリンクがオンになります。

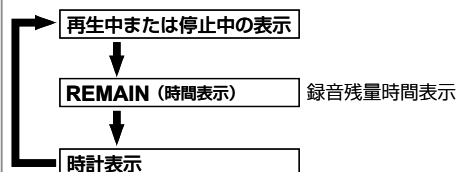
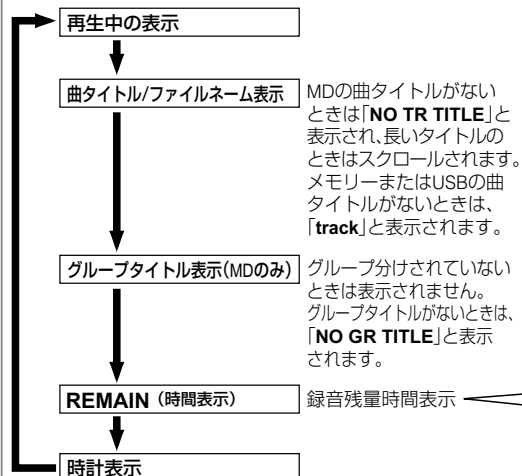
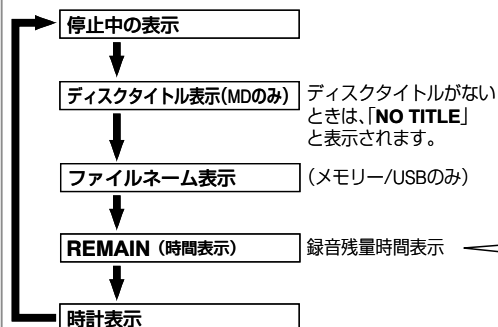
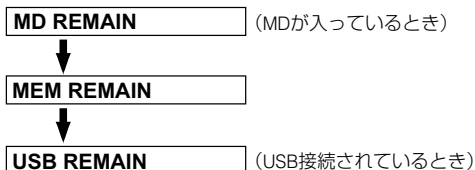
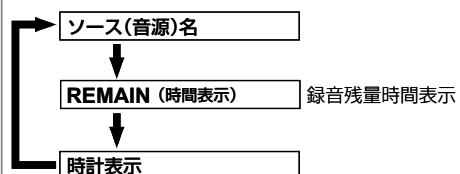
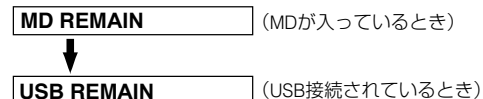
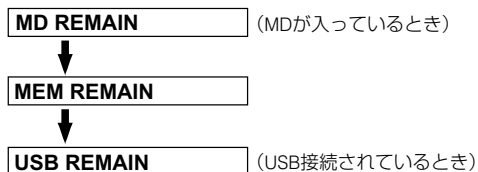
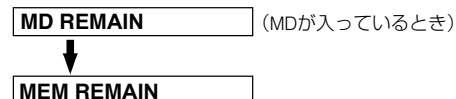
お知らせ

● 他の機器を再生していないのにQPリンクが働くときは、**[QPリンク]** を2秒以上押して「**QP:LEVEL 2（低感度）**」に切り換えてください。元の設定「**QP：LEVEL1（高感度）**」（お買い上げ時）に戻すには、同じ操作をします。

● 録音中およびタイマー録音中はQPリンクは働きません。

● デジタルオーディオプレーヤーからの音声信号が弱いときは、QPリンクが働かないことがあります。このようなときは、デジタルオーディオプレーヤーの音量を上げてください。

表示窓の表示を変える

MD、メモリー、USBの録音残量時間が確認できます。

録音の前に

録音について

いろいろなソース(音源)を、MDやメモリーに録音できます。また、USBマスストレージクラス規格に対応したデジタルオーディオプレーヤーやUSBフラッシュメモリーなどに録音することもできます。

ソース(音源) ＼ 録音先	MD	メモリー	USB接続機器	LINE接続機器*3
CD(音楽CD)	○*1	○*1	○*1	○
CD(MP3/WMA)	○	○	○	○
MD	−	○	○	○
MEMORY(メモリー)	○	−	○*2	○
FM/AM(ラジオ)	○	○	○	○
LINE(外部機器)	○	○	○	−
USB(外部機器)	○	○*2	−	○

*1 録音スピードを「**REC SPEED HIGH**」に設定すると、高速録音ができます。(メモリーまたはUSBへの録音では、録音時間を「**SP128**」または「**LP**」に設定したときのみ)

*2 常に高速録音で転送(MOVE)になります。

*3 LINE接続機器への録音は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

MDへの録音について

- 録音時間モードのSP、LP2、LP4の曲を混在させて録音することもできます。
- 本機は、通常の2倍の時間で録音できるモノラル録音には対応しておりません。ただし、モノラルソース(音源)を録音時間の各モードで録音することはできます。

ご注意

- LP2またはLP4で録音された曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。曲タイトルの始めに「**LP:**」と表示され、無音状態になります。MDLPに対応した機器で再生すると「**LP:**」は表示されません。
  「**LP:**」をつけるかどうか設定することができます。(「**LP:**」表示設定 ☞***27***、***32***)

- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「**DISC FULL**」が表示されます。
- 録音するときは、本機が未録音部分を探して録音します。テープのように上書きで録音することはできません。
- 音楽CDの音声はデジタル信号のまま録音されます。ラジオやLINEの音声は、アナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

CD-R/CD-RWディスクの録音について

- CD-R/RW(デジタルオーディオ)の音声をMD、メモリーまたはUSBに録音する場合、表示窓に「**SCMS CANNOT COPY**」(☞***62***、***66***)が表示されたときは、デジタル録音はできません。以下の操作でアナログ録音してください。
  本体の**[MD録音]**、**[メモリー録音]**または**[USB録音]**を4秒以上押して、「**ANALOG REC ?**」が表示されている間にもう一度同じボタンを押します。

トラックマークについて

MDおよびメモリー、USB接続機器には、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

- CDを録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- FM/AM/LINEを録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます。(トラックマークの設定 ☞***27***)

メモリーおよびUSB接続機器への録音について

- メモリーとUSB接続機器間の録音はデータの移動(MOVE)になり、録音元にはデータが残りません。
- MP3形式のフォーマットで録音されます。ただし、メモリーとUSB接続機器間の録音ではデータ形式は変わりません。WMAファイルはWMAファイルのまま録音されます。
- タイトル名がコピーされ、そのあとに拡張子(.MP3)がつきます。タイトル名がない場合は「**track.MP3**」がつきます。
- 録音時間モードのビットレートがSP192(192 kbps)、SP128(128 kbps)、LP(64 kbps)の曲を混在させて録音することもできます。
- 録音残量時間が不足するときに録音しようとすると、「**DATA FULL**」と表示され録音できません。

お知らせ

- 録音残量時間は、そのときの録音に使われる録音時間モードに応じて異なります。
  ソース(音源)がメモリー時のUSB録音残量時間と、ソース(音源)がUSB時のメモリー録音残量時間は、128bpsの場合の残量時間を表示します。
- リピート再生での録音はできません。録音を開始すると自動でリピート再生が解除されます。
- USB接続機器に作成したグループの作成日と録音された曲の作成日は、常に2006/1/1になります。

ご注意

- 録音中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に録音終了直後の「**WRITING**」(書き込み中)の表示中は注意してください。再生できなくなるおそれがあります。

録音モードについて

録音するときの録音モードが設定できます。一度設定すると次回からは、変更するとき以外は設定する必要がありません。

MDに録音するときの録音モード

■ 録音時間（MDLPモード）

モード	内容	設定できるソース（音源）
MD REC TIME SP	標準ステレオ録音 （MD80で最大８０分録音可能）	CD、MEMORY、USB、 FM/AM/LINE
MD REC TIME LP2	２倍長時間ステレオ録音 （MD80で最大160分録音可能）	
MD REC TIME LP4	４倍長時間ステレオ録音 （MD80で最大320分録音可能）	

- モードが長時間（SP→LP2→LP4）になるにしたがって、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- お手持ちのMD再生機（カーステレオやポータブルMDプレーヤーなど）がMDLPに対応していない場合はSPを選んでください。

■ トラックマーク

モード	内容	設定できるソース（音源）
MD MARKING MANUAL	録音中、[SET]を押したところにつきます。	FM/AM/LINE
MD MARKING TIME	５分間隔で自動的につきます。	
MD MARKING AUTO	無音部分が３秒以上続くと自動的につきます。 [SET]を押してつけることもできます。	

■ グループ

モード	内容	設定できるソース（音源）
MD GROUP REC ON	グループとして録音します。	CD、MEMORY、USB、 FM/AM/LINE
MD GROUP REC OFF	グループとして録音しません。	

■「LP:」表示

モード	内容	設定できるソース（音源）
MD(LP:) ON	MDLP非対応の機器で再生したとき、曲タイトルの頭に「LP:」がつきます。 （LP2またはLP4で録音のとき）	CD、MEMORY、USB、 FM/AM/LINE
MD(LP:) OFF	「LP:」はつきません。	

メモリーまたはUSBに録音するときの録音モード

■ 録音時間

モード	内容	設定できるソース（音源）
MEM/USB REC TIME SP192	192 kbpsのビットレート （容量が512 MBのとき、1曲4分として約80曲録音）	CD、MD、FM/AM/LINE
MEM/USB REC TIME SP128	128 kbpsのビットレート （容量が512 MBのとき、1曲4分として約125曲録音）	
MEM/USB REC TIME LP	64 kbpsのビットレート （容量が512 MBのとき、1曲4分として約250曲録音）	

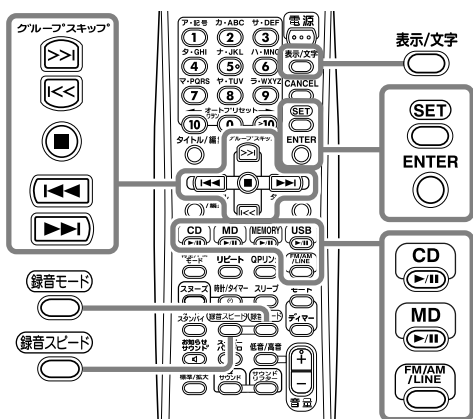
- モードが長時間（SP192→SP128→LP）になるにしたがって、音質に差が出ます。最良の音質で録音したいときは、SP192を選んでください。

■ トラックマーク

モード	内容	設定できるソース（音源）
MEM/USB TRK INC. MANUAL	録音中、[SET]を押したところにつきます。	FM/AM/LINE
MEM/USB TRK INC. TIME	５分間隔で自動的につきます。	
MEM/USB TRK INC. AUTO	無音部分が３秒以上続くと自動的につきます。 [SET]を押してつけることもできます。	

- 「TRK INC.」は、TRACK INCREMENT（トラックを増やす）の略称です。

メモリーに録音する

［USB機器からメモリーに録音する場合は☞ **35**、**38** をご覧ください。］

CDまたはMDを録音する

準備

- CDを録音するときは、再生するCDを入れます。
- MDを録音するときは、再生するMDを入れます。

1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

CDのとき ： CD ►/II →■を押す

MDのとき ： MD ►/II →■を押す

2 録音時間のモードを設定する

録音モード を押す

- CDのときは4回押します。
- MDのときは1回押します。

録音時間を表示している間に

|◄◄ または ►►| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MEM/USB REC TIME SP192　1曲4分として約80曲録音可能
↓
MEM/USB REC TIME SP128　1曲4分として約125曲録音可能
↓
MEM/USB REC TIME LP　1曲4分として約250曲録音可能

- 他の録音モードはMDに録音するときのモードです。

MD、MP3/WMAディスクのとき ➡ **手順** 4へ

3 録音スピードを設定する (CDのみ)

録音スピード を押す

- 押すごとに切り換わります。

REC SPEED HIGH(倍速録音)
↕
REC SPEED NORMAL(等速録音)

- 録音される音質はどちらも同じです。
- 録音スピードは録音時間モードの設定により異なります。
  SP192：倍速録音はできません。「CAN NOT REC NORMAL ONLY」が表示されます。
  SP128：1.5倍速
  LP　　：3.0倍速
- MP3/WMAディスクは、倍速録音はできません。「ANALOG REC」と表示され、等速録音になります。

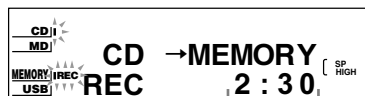
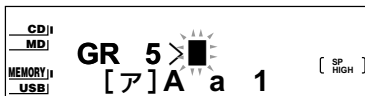
4 本体の メモリー録音 を押す

メモリーのグループ番号を選んで録音する場合

5 グループ番号を選ぶ

グループスキップ >>| または |<< を押して選ぶ

6 本体の メモリー録音 を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。(シンクロ録音)

メモリーに新しくグループを作成して録音する場合

5 「FORM GR?」を選ぶ

|◄◄ を押して選び SET を押す

6 グループタイトルを入力する

- 上図は、内蔵メモリーに5つ目のグループ(グループの最後に新しく作成されるグループ番号)が作成されたことを示しています。また、再生時に表示されるグループ番号となります。
- グループタイトルを入力するときは「**タイトルをつける**」の手順2、3をご覧ください。(☞**40**)

7 ENTER を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。(シンクロ録音)

録音が終了し、「REC FINISH」が表示されたら

■ を押す

録音を途中で停止するには

録音中に ■ を押す

- 「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- 1つのグループに録音できる曲数は、最大255曲です。
- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは、☞62、66をご覧ください。
- 「GROUP FULL」、「TRACK FULL」が表示されたときは、☞67をご覧ください。
- MDまたはMP3/WMAディスクからの録音は、トラックタイトルもコピーされます。トラックタイトルがない場合は、「track.MP3」というタイトルになります。トラックに以下の文字があったときは、スペースになります。

  "、＊、¥、／、：、；、<、>、?、|

1曲だけ録音するには

手順 4 の［メモリー録音］を押す前に、録音したい曲を再生する

- 曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。
- 録音設定完了時に再生されている曲が録音されます。設定中に録音したい曲が終了し、次の曲が再生されると、その曲が録音されます。

途中の曲から最後の曲まで録音するには

CDまたはMDが停止中のときに、手順 4 の［メモリー録音］を押す前に［▶▶|］または［|◀◀］で曲番号を指定する

- 指定した曲から録音が始まります。

プログラム録音するには

手順 4 の［メモリー録音］を押す前に、録音したい曲をプログラムし、プログラム再生モードにする

- 「プログラム再生（CDまたはMDの場合）」（☞20）の手順 2、3 をご覧ください。
- CDを録音するときの録音スピードは、「REC SPEED NORMAL（等速）」を選んでください。「REC SPEED HIGH（倍速）」を選んで実行すると、「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され録音されません。

MDのグループを録音するには

手順 4 の［メモリー録音］を押す前に、グループ再生モードに設定し、［ >>I ］または［ I<< ］でグループ番号を指定する

- 「グループ再生」（☞22）の手順 2、3 をご覧ください。
- 指定したグループ内の曲だけが録音されます。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

［表示／文字］を押す

- 押すごとに切り換わります。

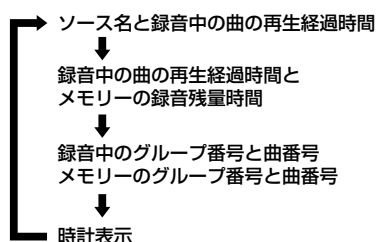
ソース名と録音中の曲の再生経過時間
↓
録音中の曲の再生経過時間と
メモリーの録音残量時間
↓
録音中のグループ番号と曲番号
メモリーのグループ番号と曲番号
↓
時計表示

ラジオやLINE接続機器の音声を録音する ラジオ LINE → メモリー

準備

- LINE接続機器から録音するときは、LINE IN 端子に他の機器を接続します。（☞10）

1 録音したいソース（音源）を選ぶ

FM/AM/LINE を押す

ラジオのとき　：「FM」または「AM」を選び、選局する。
LINEのとき　：「LINE」を選び、再生の準備をする。他の機器の音声入力レベルを調節することもできます。（☞24）

2 録音時間のモードを設定する

- 「CDまたはMDを録音する」（☞28）の手順 2 をご覧ください。このとき［録音モード］は5回押します。

3 トラックマークの設定をする

録音モード を6回押す

トラックマークを表示している間に

|◀◀ または ▶▶| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

→ MEM/USB TRK INC. MANUAL	録音中［SET］を押すとつく
↓ MEM/USB TRK INC. TIME	5分間隔で自動的につく
↓ MEM/USB TRK INK. AUTO	無音部分が3秒以上続くと自動的につく

4 本体の メモリー録音 を押す

（例：LINEから録音のとき）

CD MD MEMORY USB
L I NE→MEMORY
G 1 MUSIC ?

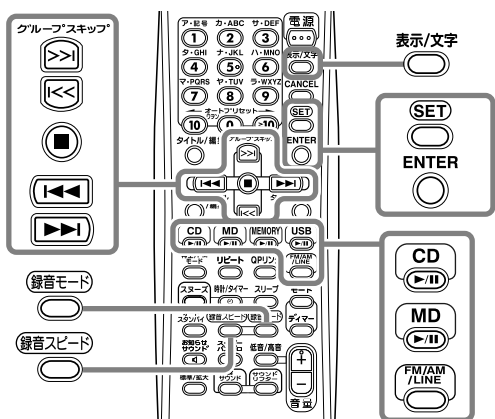
5 メモリーのグループ番号を選ぶ、または新しくグループを作成して録音する

- 「グループ番号を選んで録音する場合」「新しくグループを作成して録音する場合」（☞28）をご覧ください。

お知らせ

- LINE接続機器からの録音の場合は、手順 5 のあとに接続した機器の再生を始めてください。
- 録音中に本体の［メモリー録音］を押すと、一時停止ができます。このときトラックマークもつきます。録音を再開するには、再度［メモリー録音］を押します。
- ラジオ音声をメモリーに録音する場合、雑音が入る可能性があります。ラジオ音声を録音する場合にノイズがあるときは、外部アンテナを使用することをおすすめします。
- トラックマークをつけたときは、前後の曲のつながりが少し途切れます。

USB接続機器に録音する

［メモリーからUSB機器に録音する場合は ☞**35**、**36**をご覧ください。］

CDまたはMDを録音する

準備

- USB端子に他のオーディオ機器を接続します。（☞**10**）

1 録音するソース（音源）を選び、停止状態にする

CDのとき ： CD（▶/II） →（■）を押す

MDのとき ： MD（▶/II） →（■）を押す

2 録音時間のモードを設定する

録音モード を押す

- CDのときは４回押します。
- MDのときは１回押します。

録音時間を表示している間に

|◀◀ または ▶▶| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MEM/USB REC TIME SP192
↓
MEM/USB REC TIME SP128
↓
MEM/USB REC TIME LP

録音できる曲数は、USB機器の容量によって異なります。

- 他の録音モードはMDに録音するときのモードです。

MD、MP3/WMAディスクのとき ➡ **手順 4へ**

3 録音スピードを設定する（CDのみ）

録音スピード を押す

- 押すごとに切り換わります。

REC SPEED HIGH（倍速録音）
↕
REC SPEED NORMAL（等速録音）

- 録音される音質はどちらも同じです。
- 録音スピードは録音時間モードの設定により異なります。
  SP192 ：倍速録音はできません。「CAN NOT REC NORMAL ONLY」が表示されます。
  SP128 ：1.5倍速
  LP ：3.0倍速
- MP3/WMAディスクは、倍速録音はできません。「ANALOG REC」と表示され、等速録音になります。

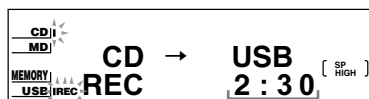
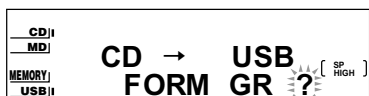
4 本体の USB録音 を押す

USBのグループ番号を選んで録音する場合

5 グループ番号を選ぶ

グループスキップ >>| または |<< を押して選ぶ

6 本体の USB録音 を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。（シンクロ録音）

USBに新しくグループを作成して録音する場合

5 「FORM GR?」を選ぶ

|◀◀ を押して選び SET を押す

6 グループタイトルを入力する

GR 5 >■
［ア］A a 1

- 上図は、USB接続機器に５つ目のグループ（グループの最後に新しく作成されるグループ番号）が作成されたことを示しています。再生時に表示されるグループ番号とは異なる場合があります。
- 録音中に表示窓の表示内容を切り換える（☞**31**）と、実際に録音されているグループ番号を確認できます。
- グループタイトルを入力するときは「**タイトルをつける**」の手順2、3をご覧ください。（☞**40**）

7 ENTER を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。（シンクロ録音）

録音が終了し、「REC FINISH」が表示されたら

（■）を押す

録音を途中で停止するには

録音中に（■）を押す

- 「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは、☞62、66をご覧ください。
- 「GROUP FULL」、「TRACK FULL」が表示されたときは、☞67をご覧ください。
- MDまたはMP3/WMAディスクからの録音は、トラックタイトルもコピーされます。トラックタイトルがない場合は、「track.MP3」というタイトルになります。トラックに以下の文字があったときは、スペースになります。

 "、＊、¥、／、：、；、<、>、?、|

ご注意

- 録音中は、USB端子に接続した機器をはずさないでください。

1曲だけ録音するには

手順4の[USB録音]を押す前に、録音したい曲を再生する

- 曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。
- 録音設定完了時に再生されている曲が録音されます。設定中に録音したい曲が終了し、次の曲が再生されると、その曲が録音されます。

途中の曲から最後の曲まで録音するには

CDまたはMDが停止中のときに、手順4の[USB録音]を押す前に[▶▶|]または[|◀◀]で曲番号を指定する

- 指定した曲から録音が始まります。

プログラム録音するには

手順4の[USB録音]を押す前に、録音したい曲をプログラムし、プログラム再生モードにする

- 「プログラム再生(CDまたはMDの場合)」(☞20)の手順2、3をご覧ください。
- CDを録音するときの録音スピードは、「REC SPEED NORMAL(等速)」を選んでください。「REC SPEED HIGH(倍速)」を選んで実行すると、「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され録音されません。

MDのグループを録音するには

手順4の[USB録音]を押す前に、グループ再生モードに設定し、[>>I]または[I<<]でグループ番号を指定する

- 「グループ再生」(☞22)の手順2、3をご覧ください。
- 指定したグループ内の曲だけが録音されます。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

[表示/文字]を押す

- 押すごとに切り換わります。

ソース名と録音中の曲の再生経過時間
↓
録音中の曲の再生経過時間と
USBの録音残量時間
↓
録音中のグループ番号と曲番号
USBのグループ番号と曲番号
↓
時計表示

ラジオやLINE接続機器の音声を録音する ラジオ LINE → USB

準備

- LINE接続機器から録音するときは、LINE IN端子に他の機器を接続します。(☞10)

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

FM/AM /LINE を押す

ラジオのとき：「FM」または「AM」を選び、選局する。
LINEのとき：「LINE」を選び、再生の準備をする。他の機器の音声入力レベルを調節することもできます。(☞24)

2 録音時間のモードを設定する

- 「CDまたはMDを録音する」(☞30)の手順2をご覧ください。このとき[録音モード]は5回押します。

3 トラックマークの設定をする

録音モード を6回押す

トラックマークを表示している間に

|◀◀ または ▶▶| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MEM/USB TRK INC. MANUAL	録音中[SET]を押すとつく
↓ MEM/USB TRK INC. TIME	5分間隔で自動的につく
↓ MEM/USB TRK INC. AUTO	無音部分が3秒以上続くと自動的につく

4 本体の USB録音 を押す

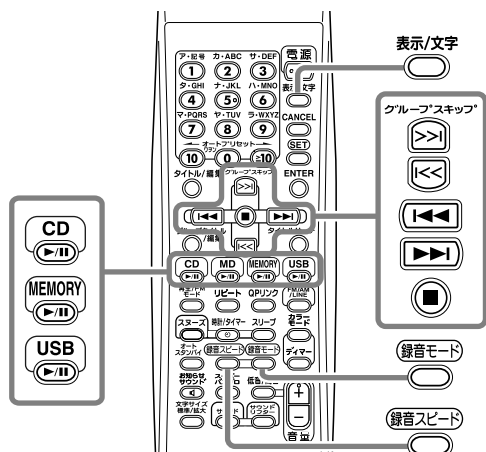
CD MD MEMORY USB
LINE→ USB
G 1 MUSIC ?
SP

5 USBのグループ番号を選ぶ、または新しくグループを作成して録音する

- 「グループ番号を選んで録音する場合」「新しくグループを作成して録音する場合」(☞30)をご覧ください。

お知らせ

- LINE接続機器からの録音の場合は、手順5のあとに接続した機器の再生を始めてください。
- 録音中に本体の[USB録音]を押すと、一時停止ができます。このときトラックマークもつきます。録音を再開するには、再度[USB録音]を押します。
- ラジオ音声をUSBに録音する場合、雑音が入る可能性があります。ラジオ音声を録音する場合にノイズがあるときは、外部アンテナを使用することをおすすめします。
- トラックマークをつけたときは、前後の曲のつながりが少し途切れます。

MDに録音する

CDをまるごと1枚録音する

準備

- 録音用のMDを入れます。
  — 誤消去防止つまみを閉じておきます。(☞64)
- 再生するCDを入れます。

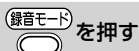
1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

CD →(■)を押す

2 録音時間のモードを設定する

録音モード を押す

録音時間を表示している間に

|◀◀ または ▶▶| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

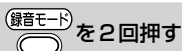
MD REC TIME SP (MD80で最大80分の録音)
↓
MD REC TIME LP2 (MD80で最大160分の録音)
↓
MD REC TIME LP4 (MD80で最大320分の録音)

- 最良の音質で録音したいときは、SPを選んでください。
- お手持ちのMD再生機がMDLPに対応していない場合は、SPを選んでください。

3 グループ録音の設定をする

録音モード を2回押す

グループ選択を表示している間に

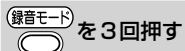
|◀◀ または ▶▶| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MD GROUP REC ON グループ録音になります。
↕
MD GROUP REC OFF

4 「LP:」の表示設定をする

録音モード を3回押す

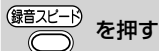
LP表示選択を表示している間に

|◀◀ または ▶▶| を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

MD (LP:) ON
↕
MD (LP:) OFF

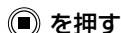
MP3/WMAディスクのとき ➡ **手順 6** へ

5 録音スピードを設定する(CDのみ)

録音スピード を押す

- 押すごとに切り換わります。

REC SPEED HIGH(倍速録音) 約5倍速で録音されます。(録音中は音声が出ません)
↕
REC SPEED NORMAL(等速録音)

- 録音される音質はどちらも同じです。
- MP3/WMAディスクは倍速録音できません。「ANALOG REC」と表示され、等速録音になります。

6 本体の MD録音 を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。(シンクロ録音)

録音が終了し、「REC FINISH」が表示されたら

(■) を押す

録音を途中で停止するには

録音中に (■) を押す

- 「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- 手順 2～5 で設定を変える必要がないときは、手順 1 と手順 6 で録音できます。
- MP3/WMAディスクからの録音は、トラックタイトルもコピーされます。タグ情報(アーティスト名、アルバム名)はコピーされません。
- 「HCMS CANNOT COPY」が表示されたときは、☞62、66をご覧ください。

メモリーまたはUSBから録音する メモリー USB → MD

準備

- 録音用のMDを入れます。
  ―誤消去防止つまみを閉じておきます。(☞*64*)
- USB接続機器から録音するときは、USB端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞*10*)

1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

メモリーのとき ： MEMORY (▶/II) →(■)を押す

USBのとき ： USB (▶/II) →(■)を押す

2 録音モードを設定する

- 「CDをまるごと1枚録音する」(☞*32*)の手順2～4をご覧ください。
- 録音スピードは、「REC SPEED NORMAL」を選んでください。

3 本体の MD録音 を押す

- 再生開始と同時に録音が始まります。(シンクロ録音)

(例:メモリーを録音のとき)　MDLPモード

再生経過時間

グループ録音のとき点灯

録音が終了し、「REC FINISH」が表示されたら

(■) を押す

録音を途中で停止するには

録音中に (■) を押す

- 「REC FINISH」が表示されます。

お知らせ

- 手順2で設定を変える必要がないときは、手順1と手順3で録音できます。
- トラックタイトルがある場合は、コピーされます。

1曲だけ録音するには

[MD録音]を押す前に、録音したい曲を再生する

- 曲の頭に戻り、その曲だけが録音されます。

途中の曲から最後の曲まで録音するには

CDの場合

1. 停止中に、[▶▶I]または[I◀◀]で曲番号を指定する
2. [MD録音]を押す

- 指定した曲から録音を始めます。

MP3/WMAディスク／メモリー／USBの場合

1. 停止中に、[>>I]または[I<<]でグループを選ぶ
2. [▶▶I]または[I◀◀]で曲番号を指定する
3. [MD録音]を押す

- 指定した曲から録音を始めます。

プログラム録音するには

[MD録音]を押す前に、録音したい曲をプログラムし、プログラム再生モードにする

CD、MP3/WMAディスクのとき ➡ ☞*20*の **手順** 2、3

メモリーのとき ➡ ☞*21*をご覧ください。

- CDを録音するときの録音スピードは、「REC SPEED NORMAL(等速)」を選んでください。「REC SPEED HIGH(倍速)」を選んで実行すると、「CANNOT REC NORMAL ONLY」と表示され録音されません。

メモリーおよびUSBのグループを録音するには

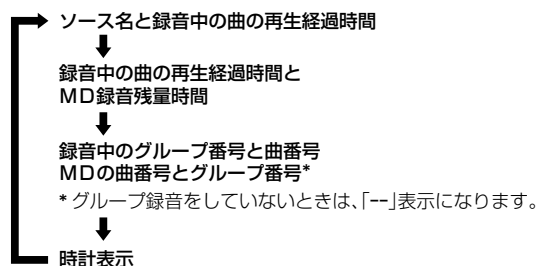
[MD録音]を押す前に、グループ再生モードに設定し、[>>I]または[I<<]でグループ番号を指定する

- 「グループ再生」(☞*22*)の手順2、3をご覧ください。
- 指定したグループ内の曲だけが録音されます。

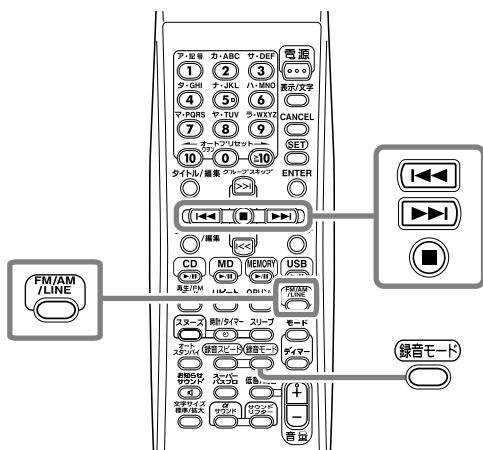
録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

[表示/文字]を押す

- 押すごとに、次のように切り換わります。

ソース名と録音中の曲の再生経過時間
⬇
録音中の曲の再生経過時間と
MD録音残量時間
⬇
録音中のグループ番号と曲番号
MDの曲番号とグループ番号*
* グループ録音をしていないときは、「--」表示になります。
⬇
時計表示

MDに録音する（つづき）

ラジオやLINE接続機器の音声を録音する ラジオ LINE → MD

準備

- 録音用のMDを入れます。
  ー 誤消去防止つまみを閉じておきます。(☞**64**)
- LINE接続機器から録音するときは、LINE IN 端子に他の機器を接続します。(☞**10**)

1 録音したいソース(音源)を選ぶ

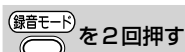
を押す

ラジオのとき ：「FM」または「AM」を選び、選局する。
LINEのとき ：「LINE」を選び、他の機器の再生を準備する。他の機器の音声入力レベルを調節することもできます。(☞**24**)

2 録音時間のモードを設定する

- 「**CDをまるごと1枚録音する**」(☞**32**)の手順2をご覧ください。

3 トラックマークの設定をする

を2回押す

トラックマークを表示している間に
⏮ または ⏭ を押して選ぶ

- 押すごとに切り換わります。

→ MD MARKING MANUAL	録音中[SET]を押すとつく
↓ MD MARKING TIME	5分間隔で自動的につく
↓ MD MARKING AUTO	無音部分が3秒以上続くと自動的につく

4 グループ録音の設定をする

- 「**CDをまるごと1枚録音する**」(☞**32**)の手順3をご覧ください。
  このとき[**録音モード**]は3回押します。

5 「LP:」の表示設定をする

- 「**CDをまるごと1枚録音する**」(☞**32**)の手順4をご覧ください。
  このとき[**録音モード**]を4回押します。

6 本体の MD録音 を押す

- LINE接続機器からの録音の場合は、「**LINE→MD**」と表示されるのを待って、接続した機器の再生を始めてください。

録音が終了し、「REC FINISH」が表示されたら

■ を押す

録音を途中で停止するには

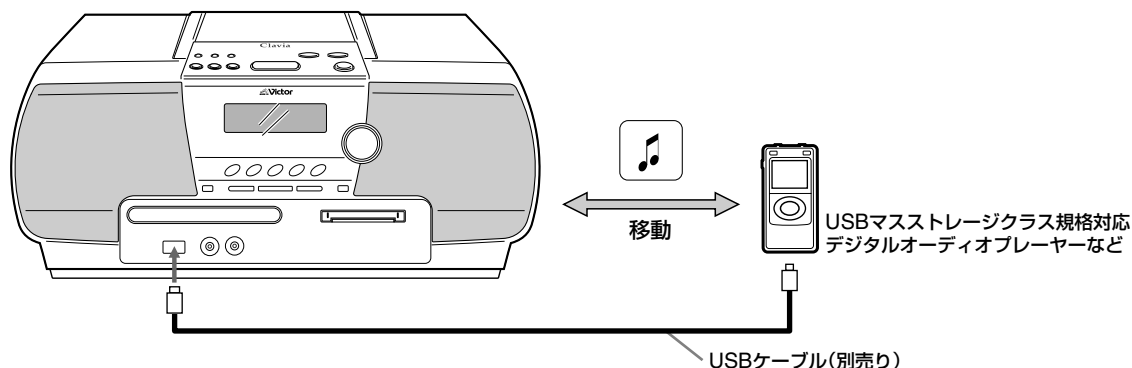
録音中に ■ を押す

- 「**REC FINISH**」が表示されます。

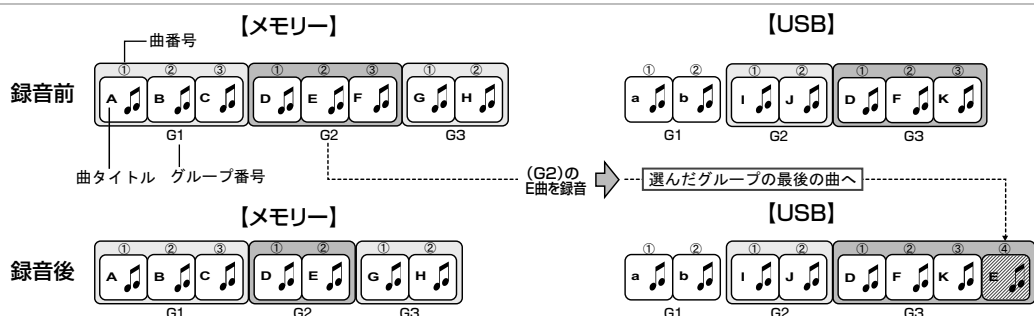
お知らせ

- 手順2～5で設定を変える必要がないときは、手順1と手順6で録音できます。
- 録音中に本体の[**MD録音**]を押すと、一時停止ができます。このときトラックマークがつきます。録音を再開するには、[**MD録音**]をもう一度押します。

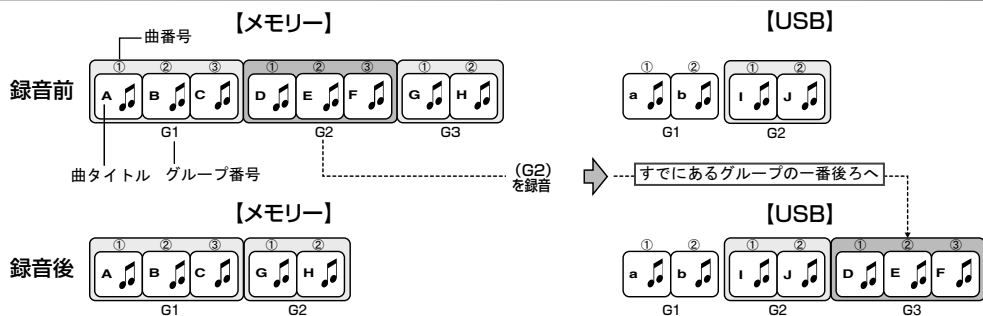
メモリーとUSB機器間の録音について

USB接続にて、本機のメモリーからUSB機器にデジタル録音した場合や、USB機器からメモリーにデジタル録音した場合、**曲データは移動(MOVE)になり、録音元にはデータが残りません。**

本機のメモリーからUSB機器に録音した場合

- USBからメモリーに録音した場合も同様の移動になります。

■ 1曲録音(☞***36***、***38***) 例:メモリーのG2(グループ2)にあるE曲をUSBのG3(グループ3)へ録音

・Ｇ２の中が1曲減り、曲番号がくり上がる。
上図では録音前③だったＦ曲の曲番号が、録音後は②になっている。

・Ｇ３の中に1曲増えて、曲番号がつけ直される。
新しくグループを作成して録音した場合(☞***28***、***30***、***36***、***38***)は、今まであるグループの後ろに新規グループが作成されます。(上図の場合、4つ目のグループが作成される)
ＵＳＢ録音したときは、再生時に表示されるグループ番号と異なる場合があります。
メモリー録音のときは作成されるグループと再生時に表示されるグループ番号は同じです。

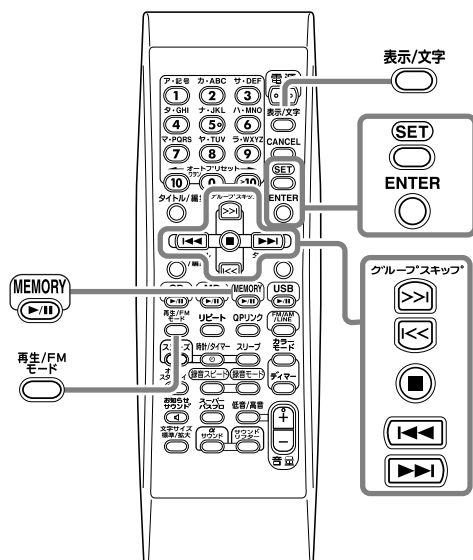
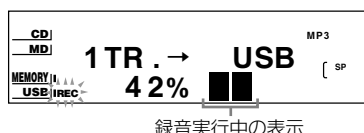
■ グループ録音(☞***37***、***39***) 例:メモリーのG2(グループ2)をUSBへ録音

・グループが1つ減り、グループ番号がくり上がる。
上図では録音前Ｇ３だったグループ番号が、録音後はＧ２になっている。

・グループが１つ増え、グループ番号がつけ直される。

お知らせ

- 本機の電源が「**入**」のときにUSB接続すると、USB機器に電源を供給します。
- 本機とパソコンをUSB接続しても、パソコンとのやり取り(メモリーのデータをパソコンへ、またはパソコンのデータをメモリーへ)はできません。

メモリーからUSB機器に録音する

高速で録音します。録音はデータ(曲)の移動(MOVE)になり、メモリーにはデータが残りません。

グループ番号を選んで録音する場合

4 グループ番号を選ぶ

グループスキップ [>>I] または [I<<] を押して選ぶ

5 本体の USB録音 を押す ● 録音が始まります。

録音実行中の表示

● 録音を途中で停止することはできません。

● 短い曲の場合、録音実行中の表示が出ないことがあります。

新しくグループを作成して録音する場合

4 「FORM GR ?」を選ぶ

[I◀◀] を押して選び SET を押す

5 グループタイトルを入力する

● 上図は、USB接続機器に5つ目のグループ(グループの最後に新しく作成されるグループ番号)が作成されたことを示しています。再生時に表示されるグループ番号とは異なる場合があります。

● グループタイトルを入力するときは「**タイトルをつける**」の手順 2、3をご覧ください。(☞**40**)

6 ENTER を押す ● 録音が始まります。

● 録音を途中で停止することはできません。

「REC FINISH」が表示されたら

(■) を押す

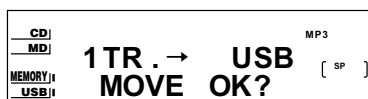
● 録音が終了すると、「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

1曲だけ録音する

準備

● USB端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞**10**)

● ソース(音源)をMEMORYにします。

1 録音する曲を再生する

グループスキップ [>>I] 、[I<<]、[I◀◀]、[▶▶I] を押して選ぶ

2 本体の USB録音 を押す

3 本体の USB録音 を押す

お知らせ

● 1曲録音するときは、グループ再生モード、プログラム再生モード、リピートALLモードを解除してください。解除していない場合、1曲録音はできません。

グループ録音する

準備

- USB端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞10)

1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

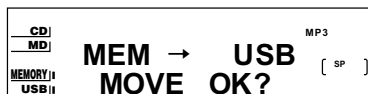
MEMORY →■を押す

2 停止中に「GROUP」を選ぶ

再生/FMモード を繰り返し押す

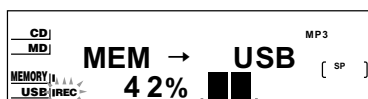
GROUP表示

MEM GROUP

3 録音したいグループ番号を選ぶ

グループスキップ ▷▷| または |◁◁ を押して選ぶ

4 本体の USB録音 を押す

5 本体の USB録音 を押す

- 録音が始まります。

録音実行中の表示

- 録音を途中で停止することはできません。
- 短い曲や曲数が少ない場合、録音実行中の表示が出ないことがあります。

「REC FINISH」が表示されたら

■ を押す

- 録音が終了すると、「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

お知らせ

- 録音中は音声が出ません。
- 録音スピードは、録音する曲の録音時間モードにより異なります。
  SP192 :約17倍速で移動します。
  SP128 :約25倍速で移動します。
  LP :約50倍速で移動します
- 「GROUP FULL」、「TRACK FULL」が表示されたときは、☞67をご覧ください。
- グループ録音が終了すると、グループ再生モードは解除されます。

ご注意

- 録音中は、USB端子に接続した機器をはずさないでください。
- メモリー再生中に、USB端子へ機器を接続しても認識はされません。メモリー再生を停止してからUSB端子へ接続してください。

プログラム録音するには

☞36の手順2にて、[USB録音]を押す前に録音したい曲をプログラムし、プログラム再生モードにする

- 「プログラム再生(メモリーまたはUSBの場合」(☞21)をご覧ください。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

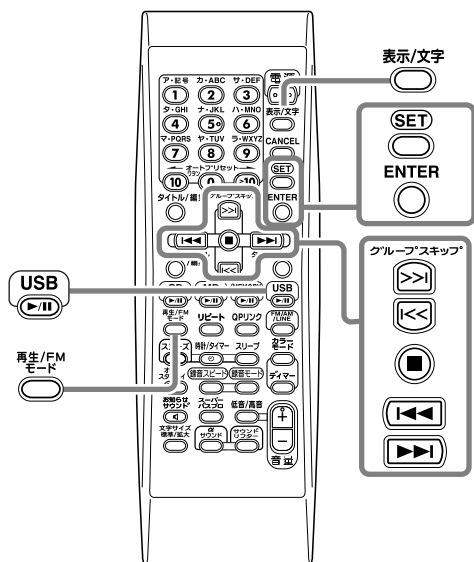
[表示/文字]を押す

- 押すごとに切り換わります。

録音実行中の表示(手順5の表示)

時計表示

USB機器からメモリーに録音する

MP3、WMA、WAVフォーマットの曲を高速で録音します。録音はデータ(曲)の移動(MOVE)になり、USBにはデータが残りません。

1曲だけ録音する

準備

- USB端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞*10*)
- ソース(音源)をUSBにします。

1 録音する曲を再生する

グループスキップ [>>I]、[I<<]、[I◀◀]、[▶▶I] を押して選ぶ

2 本体の メモリー録音 を押す

3 本体の メモリー録音 を押す

CD / MD / MP3
1TR.→MEMORY
G 1 MUSIC ?
MEMORY / USB / SP

グループ番号を選んで録音する場合

4 グループ番号を選ぶ

グループスキップ [>>I] または [I<<] を押して選ぶ

5 本体の メモリー録音 を押す
- 録音が始まります。

CD / MD / MP3
1TR.→MEMORY
42% ██
MEMORY / USB / REC / SP

録音実行中の表示

- 録音を途中で停止することはできません。
- 短い曲の場合、録音実行中の表示が出ないことがあります。

新しくグループを作成して録音する場合

4 「FORM GR？」を選ぶ

[I◀◀] を押して選び SET を押す

CD / MD / MP3
1TR.→MEMORY
FORM GR ?
MEMORY / USB / SP

5 グループタイトルを入力する

- 上図は、内蔵メモリーに5つ目のグループ(グループの最後に新しく作成されるグループ番号)が作成されたことを示しています。また、再生時に表示されるグループ番号となります。
- グループタイトルを入力するときは「**タイトルをつける**」の手順2、3をご覧ください。(☞*40*)

6 ENTER を押す
- 録音が始まります。
- 録音を途中で停止することはできません。

「REC FINISH」が表示されたら

■ を押す

- 録音が終了すると、「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

お知らせ

- 1曲録音するときは、グループ再生モード、プログラム再生モード、リピートALLモードを解除してください。解除していない場合、1曲録音はできません。

グループ録音する USB ➡ メモリー

準備

- USB端子に他のオーディオ機器を接続します。(☞*10*)

1 録音するソース(音源)を選び、停止状態にする

→■を押す

2 停止中に「GROUP」を選ぶ

を繰り返し押す

GROUP表示

GROUP
USB GROUP

3 録音したいグループ番号を選ぶ

または |<< を押して選ぶ

4 本体の メモリー録音 を押す

CD MD MEMORY USB MP3
USB →MEMORY [SP]
MOVE OK?

5 本体の メモリー録音 を押す ● 録音が始まります。

録音実行中の表示

- 録音を途中で停止することはできません。
- 短い曲や曲数が少ない場合、録音実行中の表示が出ないことがあります。

「REC FINISH」が表示されたら

■ を押す

- 録音が終了すると、「WRITING」→「REC FINISH」と表示されます。

お知らせ

- 1つのグループに録音できる曲数は、最大255曲です。
- 録音中は音声が出ません。
- 「GROUP FULL」、「TRACK FULL」が表示されたときは、☞*67*をご覧ください。
- USB接続機器に記録されているWAVフォーマットの曲も録音することができます。データ形式はWAVフォーマットのまま録音されます。
- グループ録音が終了すると、グループ再生モードは解除されます。

ご注意

- 録音中は、USB端子に接続した機器をはずさないでください。

プログラム録音するには

☞*38*の手順②にて、[メモリー録音]を押す前に録音したい曲をプログラムし、プログラム再生モードにする

- 「**プログラム再生(メモリーまたはUSBの場合**」(☞*21*)をご覧ください。

録音中に表示窓の表示内容を切り換えるには

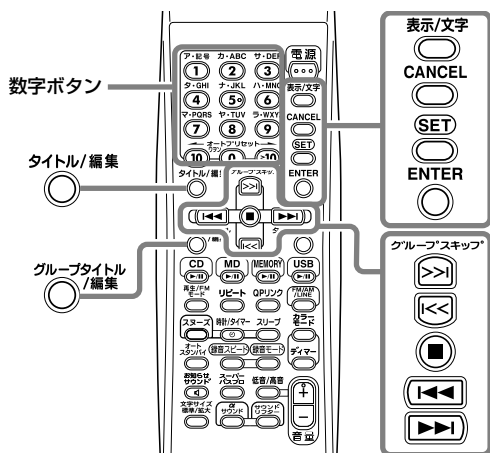
[表示/文字]を押す

- 押すごとに切り換わります。

録音実行中の表示(手順⑤の表示)

時計表示

タイトルをつける

ディスクタイトル(MDのみ)、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。

準備

MDのとき　:ソース(音源)を**MD**にし、MDを入れます。
メモリーのとき:ソース(音源)を**MEMORY**にします。

1 タイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトルをつけるとき(MDのみ)

- 必ずMDが停止のときに操作します。

タイトル/編集 を押して SET を押す

DISC TITLE?
YES?→SET

➡ **手順 2**へ進みます。

曲タイトルをつけるとき

グループスキップ ▷▷I、I◁◁、I◀◀、▶▶I を押して選ぶ

- 数字ボタンでも選べます。
- すでにタイトルが入力されているときは、修正・追加・削除ができます。

タイトル/編集 を押す

1 TITLE?
YES?→SET

- 再生中の曲もタイトルをつけられます。

SET を押す

➡ **手順 2**へ進みます。

グループタイトルをつけるとき

グループタイトル/編集 を押す

- MDのときは2回押します。

GR 1 TITLE?
YES?→SET

- グループ分けされていないMDは「FORM GR?」と表示されます。はじめにグループを作成してください。(☞**44**、**49**)

グループスキップ ▷▷I または I◁◁ を押して選び SET を押す

GR 1 TITLE ?↔GR 2 TITLE ?↔・・・

- グループ番号を選びます。
- すでにタイトルが入力されているときは、修正・追加・削除ができます。

➡ **手順 2**へ進みます

2 文字の種類を選ぶ

表示/文字 を押す

(例:ディスクタイトルのとき)

DISC>■
[ア]A a 1

- 押すごとに[ ]が移動します。

[ア] (カタカナ)
A (英大文字・記号)
a (英小文字・記号)
1 (数字)

3 [数字ボタン]で、文字を入力する

- 文字の入力方法は「**文字入力のしかた**」(☞**41**)をご覧ください。
- 手順 2、3を繰り返して入力します。

4 登録する

ENTER を押す

- 「EDITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

ディスクタイトルのとき

- 曲タイトルの入力表示になります。続けてタイトルをつけるときは、[SET]を押したあと手順 2〜4 を繰り返します。
- 終了するときは[CANCEL]を押します。通常の再生に戻ります。

曲タイトル、グループタイトルのとき

- 続けてタイトルをつけるときは、手順 2〜4 を繰り返します。
- 終了するときは、[CANCEL]を押します。通常モードに戻ります。

文字入力のしかた

MD メモリー

文字を入力するには

[数字ボタン]を繰り返し押して、希望の文字を表示させる

例:「ス」と入力するには

- ③を繰り返し押して「ス」を表示させせます。

入力に使える文字

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 ①	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC ②	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF ③	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI ④	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL ⑤	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO ⑥	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS ⑦	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV ⑧	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ ⑨	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン ⓪	ワヲン゛ー゜			0

＊「記号」で入力できる内容

メモリーのとき

□ スペース(空白)	!	#	$	%	&	’	(	)	+
ー	.	=	@	_	`				

MDのとき

□ スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	*	+
,	ー	.	／	:	;	<	=	>	?	@	_	`

・「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字だけに入力できます。

文字の入力位置を移動するには

⑩または≧⑩を押す

- 「ウエ」や「NO」のように、同じボタンを使う入力が連続するときは、1文字目を入力したあと、≧⑩を押して文字の入力位置を右に移動させてから2文字目を入力します。

文字を削除するには

[CANCEL]を押す

- 削除したい文字に入力位置を移動させ、[CANCEL]を押します。

「空白」を入力するには

「記号」からスペース(空白)を選ぶ

- タイトルの末尾では≧⑩を押して入力することもできます。

タイトル入力をやめるには

[タイトル/編集]または[グループタイトル/編集]を押す

- それまで入力した内容は取り消されます。

タイトル編集について

- メモリーのグループタイトルをつける場合、グループ名の最後に「.(ドット)」や「スペース」を使用すると、次のように変換されます。

  「.(ドット)」→「_(アンダーバー)」

  「スペース」→ 削除されます。
- タイトルは、MDの場合最大61文字、メモリーの場合最大64文字までつけることができます。
- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、タイトル入力ができません。

MDに入力できる文字数について

1枚のMDに最大1793文字(英数字・記号)、1曲に最大61文字が入力できます。
ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例:
- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつ入力することができます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつ入力することができます。

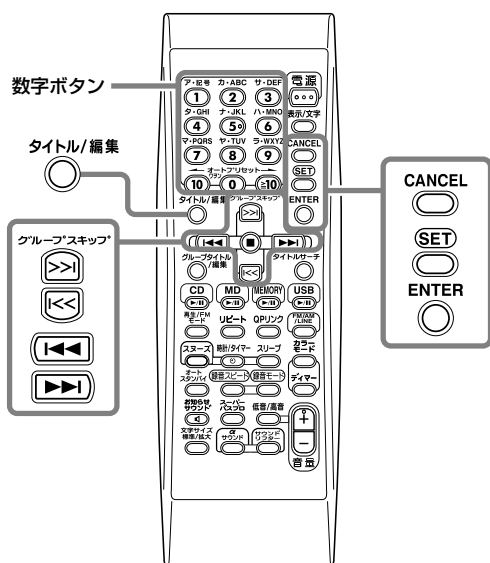
お知らせ

メモリーへのタイトル入力は

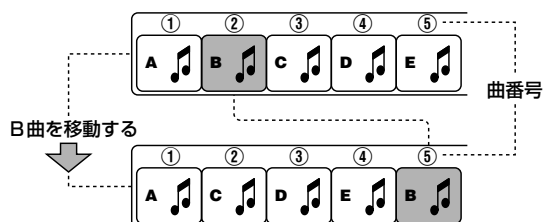
- 「G1 MUSIC」は本機のシステム上に作成されたグループです。グループタイトルを編集することはできません。
- 録音中は、タイトル入力ができません。
- 曲タイトルをつけるときは、録音時につけられた「track」を削除してからタイトルを入力してください。
- グループ内のすべての曲タイトルを編集しても、次のグループには進みません。[I<<]または[>>I]を押して、グループを選んでください。
- 最大文字数以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

MDへのタイトル入力は

- 録音中にもタイトルをつけることができます。
- タイトル入力の操作をしたあとで[MD(▲)]を押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が表示され編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると、「PLAYBACK DISC」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは、タイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると、「DISC PROTECTED」と表示されます。
- MDに合計で1793文字以上の文字を入力すると、「CANNOT TITLE」と表示されます。
- 録音が終了するまでに[ENTER]が押されなかったときは、入力した内容は取り消されます。
- グループ録音中は、そのグループのタイトルを入力できます。

曲を編集する（メモリー・USB編）

曲を移動する（MOVE）

好きな順番に曲を入れ換えることができます。

準備

- ソース（音源）をMEMORYにします。

1 移動したい曲を選ぶ

グループスキップ [>>I]、[I<<]、[I◀◀]、[▶▶I] を押して選ぶ

- 左図の例では、2曲目を選んでいます。

2 「MOVE?」を選ぶ

タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

MOVE ?
YES?→SET

3 SET を押す

2 track.M
OK?→SET

- [SET]を押す前に、[▶▶I]/[I◀◀]または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。（「**数字ボタンの使いかた**」☞*12*）

4 移動先のグループを選ぶ

グループスキップ [>>I] または [I<<] を押して選び SET を押す

G 1 MUSIC
OK?→SET

5 移動先の曲番号を選ぶ

[I◀◀] または [▶▶I] を押して選び SET を押す

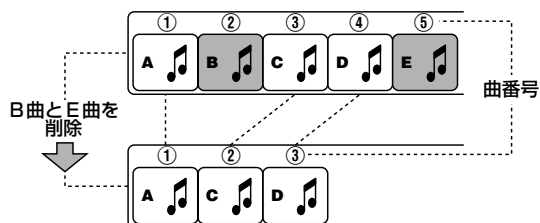
5 track.M
OK?→SET

6 ENTER を押す

- 「EDITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を最大15曲まで一度に削除できます。削除すると曲番号はつけ直されます。

準備

- メモリーのとき ： ソース(音源)をMEMORYにします。
- USBのとき ： ソース(音源)をUSBにします。

1 削除したい曲を選ぶ

グループスキップ [>>I]、[I<<]、[I◀◀]、[▶▶I] を押して選ぶ

- 上図の例では、2曲目を選んでいます。

2 「ERASE?」を選ぶ

タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

ERASE?
YES?→SET

↓

2 track.
ERASE?→SET

3 SET を押す

2 track.✓
NO?→CANCEL

- 曲タイトルの後に「√」がつきます。
- 間違えたときは[CANCEL]を押して「√」を消します。
- [▶▶I]/[I◀◀]、数字ボタン、[SET]を使って同一グループ内の15曲まで選ぶことができます。(上図の例では5曲目を選んでいます)

4 ENTER を押す

<ERASE>
YES?→ENTER

5 ENTER を押す

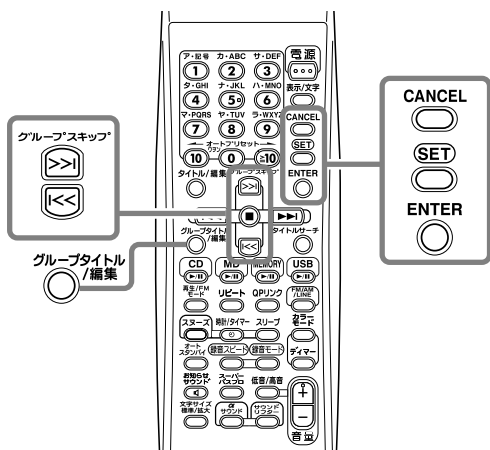
- 指定した曲が削除されます。
- 「EDITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

ご注意

- 削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

お知らせ

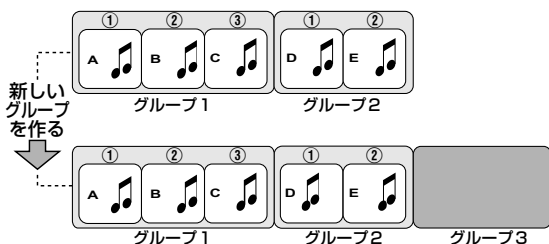
- 削除できるのは曲のみです。グループ中のすべての曲を削除しても、グループは残ります。残ったグループは録音、編集時に表示されます。
- 16曲以上削除しようとすると、「MEMORY FULL」が表示されます。

グループ単位で編集する（メモリー・USB編）

グループの編集について

- 最大99のグループに分けて管理することができます。
- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、編集できません。
- 操作の途中で[CANCEL]を押すと前の手順に戻ります。また、[**グループタイトル/編集**]を押すと編集を中止します。

グループをつくる（FORM GR）

新しいグループを作成することができます。

準備

- ソース（音源）をMEMORYにします。

1 「FORM GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

2 ENTER を押す

GR 1>█
[ア]A a 1

- [ENTER]を押す前にタイトルを入力できます。「**タイトルをつける**」の手順❷、❸をご覧ください。(☞**40**)
- 「EDITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 新しく作成したグループ（曲が入っていないグループ）は録音、編集（停止中）時に表示されます。グループの中に曲を録音すると、再生時にも表示されます。

グループを削除する（ERASE GR）

グループとそのグループ内の曲を削除します。削除したグループよりあとのグループ番号はつけ直されます。

準備

- **メモリーのとき**：ソース（音源）をMEMORYにします。
- **USBのとき**：ソース（音源）をUSBにします。

1 「ERASE GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

2 削除したいグループを選ぶ

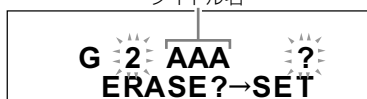
グループスキップ >>I または I<< を押して選ぶ

- 上図の例では、グループ2を選んでいます。

3 SET を押す

（例：グループ2を削除したいとき）

タイトル名

```
G 2 AAA ?
ERASE?→SET
```

- [SET] を押す前に、[>>I]/[I<<] でグループ番号を選ぶこともできます。
- グループタイトルがないときは、タイトルは表示されません。

4 ENTER を押す

```
<ERASE GR>
YES?→ENTER
```

- 本当に削除してもよければ実行します。
- 「EDITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

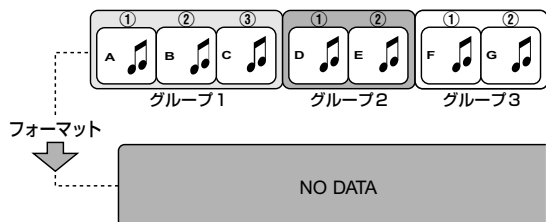
- USB接続機器でMP3/WMA以外のファイルがあるグループは削除されません。
- 「G1 MUSIC」の場合は、曲だけが削除されグループは残ります。

ご注意

- 一度削除したグループ（曲）は、戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

フォーマット（初期化）する（FORMAT）　メモリー USB

異常なデータが作成され操作できなくなったときや、すべての曲を一度に削除するときに操作し、お買い上げ時の状態にします。

準備

- メモリーのとき　：ソース（音源）をMEMORYにします。
- USBのとき　：ソース（音源）をUSBにします。

1 「FORMAT?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

```
FORMAT ?
YES?→SET
```

2 ENTER を押す

```
<FORMAT>
YES?→ENTER
```

3 SET を押す

```
<FORMAT>
YES?→SET
```

4 ENTER を押す

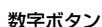
```
REALLY?
YES?→ENTER
```

- 本当にフォーマットしてもよければ実行します。
- すべてのグループ、曲が削除されます。

ご注意

- フォーマットするとすべてのグループや曲が削除されます。ソースがUSBの場合、表示窓に「NO DATA」と表示されていても音楽ファイル以外のデータが保存されていると、このデータもすべて削除されます。よく確認した上で操作してください。
- USBマスストレージ規格対応のデジタルオーディオプレーヤーの場合、本機でフォーマットすると正しく再生できなくなることがありますのでご注意ください。

曲を編集する(MD編)

曲(トラック)の編集について

- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、編集できません。
- MDで編集操作終了後の「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で[CANCEL]を押すと前の手順に戻ります。また、[**タイトル/編集**]を押すと編集を中止します。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると、「DISC PROTECTED」と表示されます。

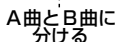
曲を分ける(DIVIDE)

1つの曲を2つに分けることができます。

1 分けたい曲を再生する

2 「DIVIDE?」を選ぶ

タイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

3 分けたいところで

SET を押す

- [SET]を押す前に、[▶▶|]/[|◀◀]または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞*12*)
- 押したところから4秒間、繰り返し再生されます。

現状の位置でよいとき ➡ **手順** 4 ➡ 6 へ

位置を微調整したいとき ➡ **手順** 5 ➡ 6 へ

4 SET を押す

5 微調整する

|◀◀ または ▶▶| を押して調整し SET を押す

- ±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で、分けるところを調節できます。

6 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 254曲録音してあるMDの曲は、「DIVIDE」が表示されません。
- 曲にタイトルがついているときは、分けた曲の両方に同じタイトルがつきます。

曲をつなげる(JOIN) MD

となり合う2つの曲をつなげることができます。

1 つなげたい2つの曲の後ろの曲(上図の例では2曲目)を再生する

2 「JOIN?」を選ぶ

3

- [SET] を押す前に、[▶▶I]/[I◀◀] または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞***12***)

4

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 以下の曲はつなげません。つなげようとすると、「CANNOT JOIN」と表示されます。
  - MDLPモード(SP/LP2/LP4)の異なる曲
  - デジタル録音した曲(CD)とアナログ録音した曲(ラジオ放送など)

  (「**MDの制約について**」☞***62***)
- 曲にタイトルがついているときは、番号が小さい方の曲タイトルが残ります。

曲を移動する(MOVE) MD

好きな順番に曲を入れ換えることができます。

1 移動したい曲(上図の例では2曲目)を再生する

2 「MOVE?」を選ぶ

3

- [SET] を押す前に、[▶▶I]/[I◀◀] または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞***12***)

4 移動先の曲番号を選ぶ

- 数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。
- 移動先の曲番号がグループ登録されているときは、そのグループに登録されます。また、移動先の曲番号がグループ登録されていないとき、グループ登録された曲を移動するとグループ登録からはずれます。

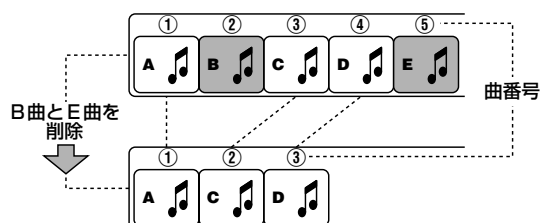
5

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

曲を編集する(MD編)(つづき)

［リモコンのボタンの位置は☞49をご覧ください。］

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を最大15曲まで一度に削除できます。削除すると曲番号はつけ直されます。

1 削除したい曲(上図の例では2曲目)を再生する

2 「ERASE?」を選ぶ

3 SET を押す

2 ERASE?
ERASE ?→SET

✓ 2 ERASE?
NO?→CANCEL

- 削除される曲番号の前に「✓」がつきます。
- 間違えたときは [CANCEL] を押して「✓」を消します。
- [▶▶I]/[I◀◀]、数字ボタン、[SET] を使って15曲まで選ぶことができます。(上図の例では5曲目を選んでいます)

4 ENTER を2回押す(確認→決定)

<ERASE>
YES?→ENTER

- 指定した曲が削除されます。
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

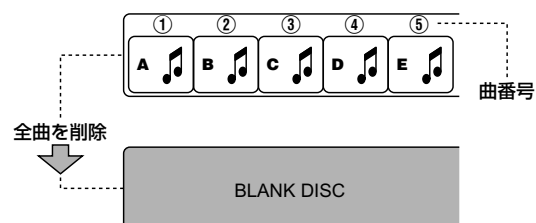
ご注意

- 削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

お知らせ

- 16曲以上削除しようとすると、「MEMORY FULL」が表示されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

全部の曲を一度に削除できます。削除するとブランクディスクになります。

1 MDを停止状態にする

2 「ALL ERASE?」を選ぶ

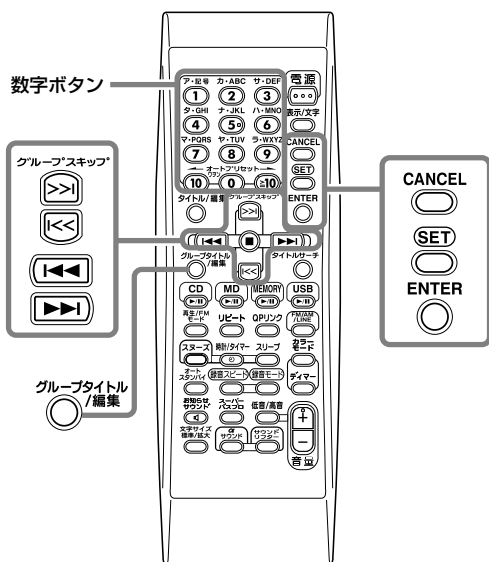
3 ENTER を押す

- すべての曲が削除されます。
- 「EDITING」→「WRITING」と表示されます。その後、「BLANK DISC」と表示されます。

ご注意

- 削除した曲は戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

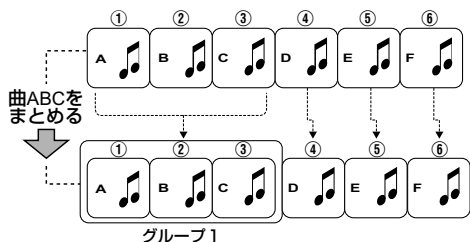
グループ単位で編集する(MD編)

MD

グループの編集について

- 曲を最大99のグループに分けて管理することができます。
- プログラム再生中、ランダム再生中およびグループ再生中のときは、編集できません。
- 編集操作終了後の「WRITING」が表示されている間は、振動を与えないように注意してください。再生できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で[CANCEL]を押すと前の手順に戻ります。また、[グループタイトル/編集]を押すと編集を中止します。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると、「DISC PROTECTED」と表示されます。

グループをつくる(FORM GR)

MD

新しいグループを作成し、どのグループにも登録されていない連続した曲を新しいグループに登録できます。1曲でもグループを作れます。

1 グループの先頭にしたい曲(下図の例では1曲目)を再生する

2 「FORM GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

3 SET を押す

- [▶▶I]/[I◀◀]または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞**12**)

4 グループの最後にしたい曲を選ぶ

[I◀◀] または [▶▶I] を押して選び SET を押す

- 数字ボタンで選ぶこともできます。

5 ENTER を押す

<FORM GR>
YES?→ENTER

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

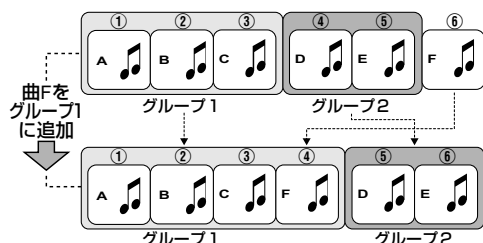
お知らせ

- すでにグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは、「CANNOT FORM」と表示され、次の手順に進めません。
- 99グループ作成されている場合、「FORM GR?」は表示されません。

グループ単位で編集する（MD編）（つづき）

グループに曲を追加する（ENTRY GR）

（エントリー グループ） MD

曲を選んで、指定したグループの最後の曲として追加できます。

1 グループに追加したい曲（上図の例では６曲目）を再生する

2 「ENTRY GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

ENTRY GR ?
YES?→SET

3 SET を押す

- [SET] を押す前に、[▶▶I]/[I◀◀] または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。（「**数字ボタンの使いかた**」☞***12***）

4 曲を追加したいグループを選ぶ

5 ENTER を押す

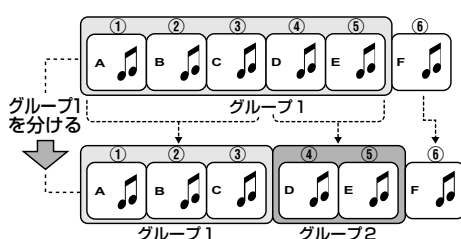
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- すでにそのグループに属している曲を選んだときは、「CANNOT ENTRY」と表示され、次の手順に進めません。

グループを分ける（DIVIDE GR）

（ディバイド グループ） MD

１つのグループを２つに分けることができます。グループ番号はつけ直されます。

1 後ろのグループの先頭にしたい曲（上図の例では４曲目）を再生する

2 「DIVIDE GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

DIVIDE GR?
YES?→SET

3 SET を押す

- [SET] を押す前に、[▶▶I]/[I◀◀] または数字ボタンで曲番号を選ぶこともできます。（「**数字ボタンの使いかた**」☞***12***）
- [SET] を押す前に、[>>I]/[I<<] でグループ番号を選ぶこともできます。

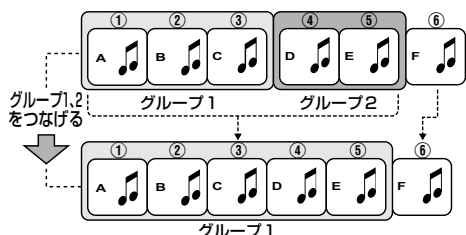
4 ENTER を押す

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- グループにタイトルがついているときは、分けたグループ両方に同じタイトルがつきます。

グループをつなげる(JOIN GR) MD

となりあう2つのグループを1つのグループにできます。グループ番号はつけ直されます。

1 つなげたいグループのうち、後ろのグループの曲を再生する(上図の例ではグループ2)

2 「JOIN GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

3 SET を押す

- 連続するグループ番号が表示されます。グループがないときは「- -」と表示されます。
- [SET] を押す前に、[>>I]/[I<<] でグループ番号を選ぶこともできます。

4 ENTER を押す

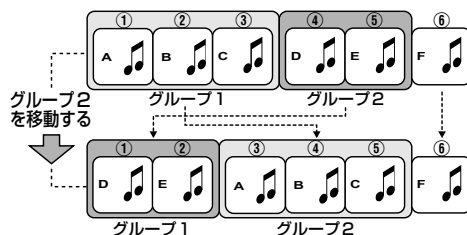
<JOIN GR>
YES?→ENTER

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

お知らせ

- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、「CANNOT JOIN」と表示され、前の手順に戻ります。
- グループにタイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。

グループを移動する(MOVE GR) MD

1つのグループを指定したところに移動できます。グループ番号はつけ直されます。

1 移動したいグループの曲を再生する(上図の例ではグループ2)

2 「MOVE GR?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

3 SET を押す

- [SET] を押す前に、[>>I]/[I<<] でグループ番号を選ぶこともできます。

4 移動先を選ぶ

(上図の例ではグループ1を選びます)

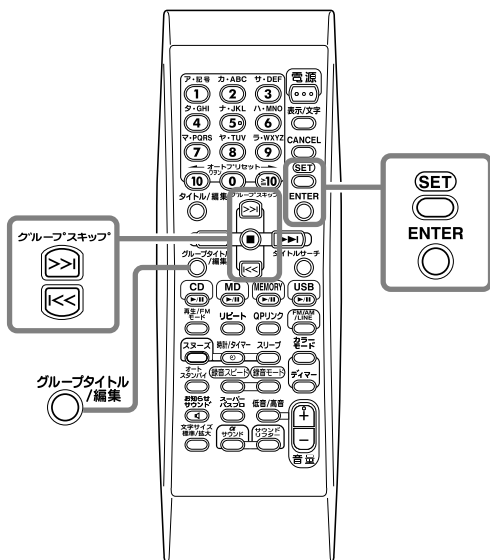
G - -←G 2?
OK?→SET

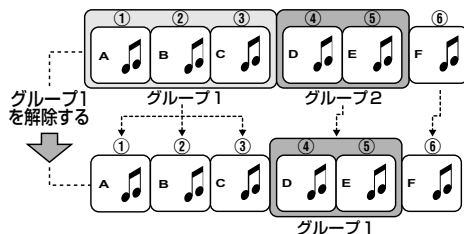
5 ENTER を押す

<MOVE GR>
YES?→ENTER

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

グループ単位で編集する（MD編）（つづき）

指定したグループを解除する（UNGROUP）

（UNGROUP：アングループ）

指定したグループを解除できます。解除されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号はつけ直されます。

1 解除したいグループの曲を再生する（上図の例ではグループ1）

2 「UNGROUP?」を選ぶ

グループタイトル/編集 を繰り返し押して SET を押す

UNGROUP ?
YES?→SET

3 SET を押す

（例：グループ1を解除したいとき）

GROUP 1 ?
YES?→SET

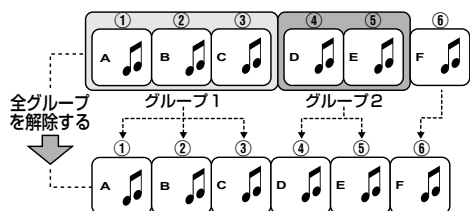
- [SET] を押す前に、[>>I]/[I<<] でグループ番号を選ぶこともできます。

4 ENTER を押す

<UNGROUP>
YES?→ENTER

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

全グループを解除する(UNGR ALL)

全グループを解除できます。グループを解除しても曲は削除されません。

1 「UNGR ALL?」を選ぶ

- 「UNGR」は「UNGROUP」の略です。

2

- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

グループを削除する(ERASE GR)

グループとそのグループ内の曲を削除します。削除したグループよりあとのグループ番号と曲番号はつけ直されます。

1 削除したいグループの曲を再生する(上図の例ではグループ2)

2 「ERASE GR?」を選ぶ

3 SET を押す

(例:グループ2を削除したいとき)

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

- [SET] を押す前に、[>>I]/[I<<] でグループ番号を選ぶこともできます。

4

<ERASE GR>
YES?→ENTER

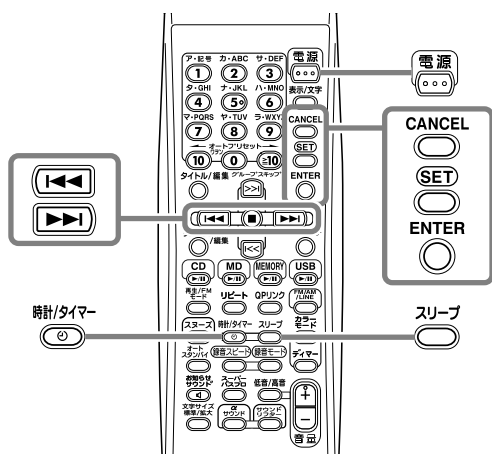
- 本当に削除してもよければ実行します。
- 「EDITING」→「WRITING」と表示され、編集した内容が記録されます。

ご注意

- 一度削除したグループ(曲)は、戻すことができません。よく確認した上で削除してください。

タイマーを使う

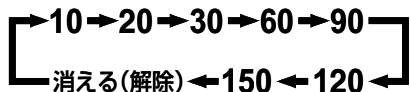
準備

- タイマーの設定をする前に時計を合わせておいてください。(☞*12*)

おやすみタイマー

設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

[スリープ] を押す

- 押すごとに、時間(単位:分)が次のように切り換わります。

10→20→30→60→90→120→150→消える(解除)→10

(例:おやすみタイマーを60分にしたとき)

スリープ表示

設定した時間を変更するには

[スリープ] を繰り返し押して時間を選び直します。

設定した時間(残り時間)を確認するには

おやすみタイマーが設定された状態で、**[スリープ]** を1回押します。

お知らせ

- おやすみタイマーを設定すると、ディマー機能の「DIMMER 2」の状態(☞*59*)になり、表示窓が暗くなります。(カラーモードが「RANDOM COLOR」以外のとき)
- 時間を合わせていないとき(「0:00」が点滅)に **[スリープ]** を押すと、「CLOCK ADJUST!」と点滅表示されます。

録音タイマー

ラジオ放送またはLINE接続した他の機器の音声を、MD、メモリーまたはUSB接続機器にタイマー録音できます。
タイマーは、録音タイマーと再生タイマー(☞*56*)を合わせて4つまで設定できます。

準備

- 録音したいソース(音源)を準備します。

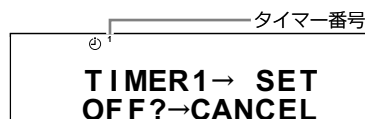
ラジオ	録音タイマーしたい放送局をプリセットしておく(☞*15*)
他の機器	LINE INに接続し、その機器の説明書に従う

- MDに録音するときは、録音用のMDを入れます。
- 他の機器に録音するときは、USB接続します。(☞*10*)
- 録音モードを設定しておきます。(☞*27*)

1 「TIMER1～TIMER4」のいずれかを選ぶ

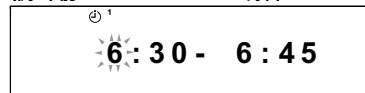
(例:TIMER1のとき)

タイマー番号

TIMER1→ SET
OFF?→CANCEL

2 開始時刻と終了時刻を設定する

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び [SET] を押す

(例:午前6:30～6:45まで録音したいとき)

6:30- 6:45

- 時刻の設定方法は「**時計を合わせる**」(☞*12*)の手順 2～5をご覧ください。

3 「WEEKLY」または「ONCE」を選ぶ

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び [SET] を押す

WEEKLY : 毎週または毎日動作します。
ONCE : 1回だけ動作します。

(例:WEEKLYを選んだとき)

6:30- 6:45
WEEKLY

4 動作させたい曜日を選ぶ

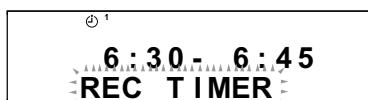
[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び [SET] を押す

「WEEKLY」を選んだとき
「**SUN.**」(日)～「**SAT.**」(土)
「**MON.-FRI.**」(月～金)
「**MON.-SAT.**」(月～土)
「**EVERYDAY**」(毎日)から選べます。

「ONCE」を選んだとき
「**SUN.**」(日)～「**SAT.**」(土)から選べます。

5 「REC TIMER」を選ぶ

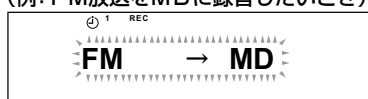
[I◀◀] または [▶▶I] を押して選び を押す

```
6:30- 6:45
REC TIMER
```

- 「REC」は「Recording(録音)」の略です。

6 録音したいソース(音源)と録音先の組み合わせを選ぶ

[I◀◀] または [▶▶I] を押して選び [SET] を押す

(例:FM放送をMDに録音したいとき)

```
FM → MD
```

- ラジオ放送を録音するときは、[▶▶I]/[I◀◀] または数字ボタンを押して録音したい放送局のプリセット番号を選び、[SET] を押します。(「**数字ボタンの使いかた**」☞**12**)
- 設定が終了すると、表示窓に設定した内容が表示されます。

ソース(音源)と録音先の組み合わせ

ソース(音源)	録音先	表示窓
FM	MD	FM→MD
AM		AM→MD
LINE		LINE→MD
FM	メモリー	FM→MEM
AM		AM→MEM
LINE		LINE→MEM
FM	USB	FM→USB
AM		AM→USB
LINE		LINE→USB

7 電源を「切」にする

を押す

```
SEE YOU
```

- タイマーは電源「**切**」のとき動作します。
- 録音先がメモリーまたはUSBのときは、「TIMER」という新しいグループが一番最後に自動的に作成され、そこに録音されます。

録音タイマーを解除するには

[時計/タイマー]を押して、解除したいタイマー番号を選び[CANCEL]を押す

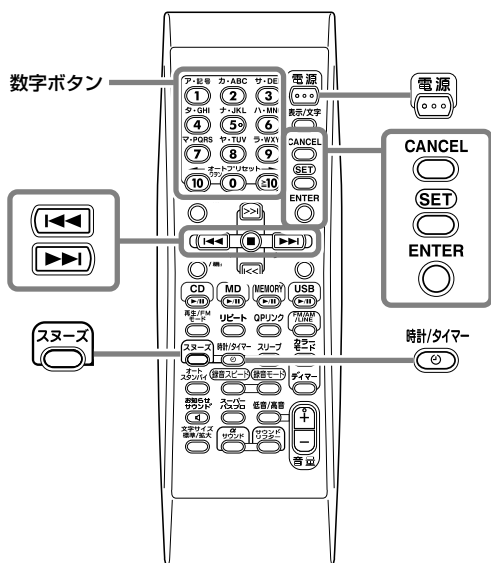
- タイマーは解除されても、設定内容は残ります。
- タイマー解除後、同じ内容で再設定する場合は、**[時計/タイマー]**を押して再設定したいタイマー番号を選び、[ENTER]を押します。

設定を確認するには

[時計/タイマー]を押して、再設定したいタイマー番号を選び[ENTER]を押す

- 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「**切**」にしてください。

お知らせ

- LINE接続機器の音声を録音する場合、タイマー機能付き機器を使用してください。
- LINE接続機器を録音するときは、QPリンクを「**OFF**」にしてください。
- 録音中は音が出ません。音を聞きたいときは**[音量]**で調節してください。
- タイマー1からタイマー4に設定した内容は、改めて設定し直さない限り記憶されています。
- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から6分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時間を設定してください。
- 電源プラグをはずしたり、停電などのときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーを設定し直してください。

再生タイマー

準備

● 再生したいソース(音源)を準備します。

CD	CDを入れる
MD	MDを入れる
ラジオ	タイマー再生したい放送局をプリセットしておく(☞***15***)
他の機器	LINE INまたはUSBに接続し、LINE INのときはその機器の説明書に従う

1 「録音タイマー」(☞***54***)の手順 1～4を行う

2 「PLAY TIMER」を選ぶ

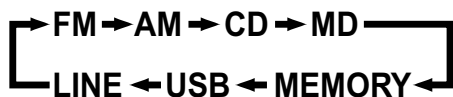
[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び [SET] を押す

6:30- 6:45
PLAY TIMER

3 再生したいソース(音源)を選ぶ

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び [SET] を押す

● 押すごとに切り換わります。

FM → AM → CD → MD → MEMORY → USB → LINE → FM

4 再生したい放送局または曲を選ぶ

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び [SET] を押す

● ラジオ放送を聞きたいときは、[▶▶|]/[|◀◀] または数字ボタンを押して放送局のプリセット番号を選びます。(「**数字ボタンの使いかた**」☞***12***)

● MDを再生したいときは、[▶▶|]/[|◀◀] または数字ボタンを押して曲番号を選びます。

● CD、MP3/WMAディスクを再生したいときは、[▶▶|]/[|◀◀] または数字ボタンを押して、再生したいグループ番号を選び、[SET] を押します。次に同じ操作で曲番号を選びます。(CDの場合、グループ番号は無効になります)

● メモリー/USB接続機器を再生したいときは、[▶▶|]/[|◀◀] を押してグループ番号を選び、[SET] を押します。次に同じ操作で曲番号を選びます。

5 再生する音量を調節する

[|◀◀] または [▶▶|] を押して選び を押す

● VOLUME0～35の範囲で設定できます。

● 数字ボタンでも設定できます。

VOLUME0～10:
(1)から(10)、(0)を押す

VOLUME11～35:
(≧10)を押してから(1)～(9)、(0)を押す

6 電源を「切」にする

● タイマーは電源「**切**」のとき動作します。

再生タイマーを解除するには

[時計/タイマー] を押して、解除したいタイマー番号を選び [CANCEL] を押す

● タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

● タイマー解除後、同じ内容で再設定する場合は、**[時計/タイマー]** を押して再設定したいタイマー番号を選び、[ENTER] を押します。

設定を確認するには

[時計/タイマー] を押して、再設定したいタイマー番号を選び [ENTER] を押す

● 表示窓に設定内容が表示されます。そのあと電源を「**切**」にしてください。

お知らせ

- LINE接続機器の音声を再生する場合は、タイマー機能付き機器を使用してください。
- LINE接続機器を録音するときは、QPリンクを「OFF」にしてください。
- 再生タイマーが動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなり設定した音量になります。（ウェイクアップボリューム機能）
- 複数のタイマーを動作させるためには、先に動作するタイマーの終了時刻から6分以上空けて、後に動作するタイマーの開始時間を設定してください。
- 電源プラグをはずしたり、停電などのときは、タイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とタイマーを設定し直してください。

スヌーズ機能

再生タイマー動作中に、一時的に音声出力を止めることができます。目覚ましタイマーとして使用するときの寝過ごし防止にご利用ください。

設定する

スヌーズモードを「ON」にする

スヌーズ を押す

スヌーズ表示

SNOOZE

SNOOZE ON

- 押すごとに「ON」「OFF」が切り換わります。
  SNOOZE ON：スヌーズ機能有効
  SNOOZE OFF：スヌーズ機能無効（お買い上げ時の設定）
- 本体の［**時計表示／スヌーズ**］を2秒以上押しても切り換えできます。

スヌーズ機能を使う

再生タイマー動作中に

本体の を押す

- 消音し、5分間経過すると徐々に音声が出ます。
- 再生タイマー動作中は、何回でも働きます。
- スヌーズ動作中は、表示窓が「DIMMER 2」（☞59）の状態になり暗くなります。（カラーモードが「RANDOM COLOR」以外のとき）

消音中に音声を出したいときは

- ボリュームを調節してください。

スヌーズ機能を解除するには

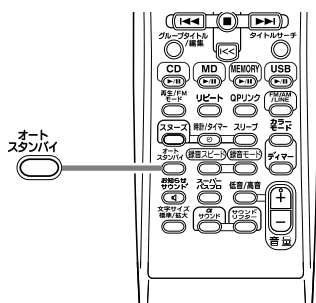
- スヌーズ設定を「OFF」にするか、再生タイマーを解除します。

お知らせ

- 再生タイマーのソース（音源）がCDでスヌーズ機能を使う場合は、収録時間が20分以上のCDをお使いください。

その他の機能

オートスタンバイ機能を使う

ラジオ(FM/AM)以外のソース(音源)のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

ソース(音源)がFM/AM以外のときに

オートスタンバイ を押す

A.STANDBY SET

オートスタンバイ表示

オートスタンバイの動作

CD、MD、メモリーまたはUSB接続機器を再生または録音しているとき:

再生または録音が終わると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「**切**」になります。

3分以内に再生または録音の操作をしたときは、再生または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。

再生または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分が経過すると、自動的に電源が「**切**」になります。

LINE接続機器の音声を聞いているとき:

無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分以上無音が続くと、自動的に電源が「**切**」になります。

電源が「**切**」になる20秒前になると表示窓の文字情報表示部に「**A.STANDBY OFF**」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除するには

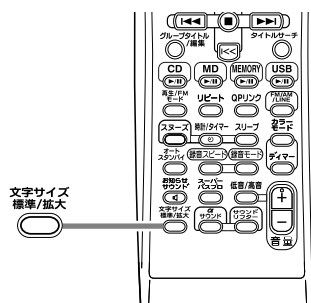
[オートスタンバイ]を押す

- 「**A.STANDBY**」表示が消灯します。

お知らせ

- 音量(ボリューム)を「0」にした状態は、オートスタンバイでいう「無音状態」ではありません。
- LINE IN端子に接続した他の機器の音声を聞いているとき、入力される音声信号レベルが小さいと、オートスタンバイ機能が働くことがあります。

表示文字を大きくする

表示窓の表示を大きくすることができます。(拡大表示)

文字サイズ 標準/拡大 を押す

- 押すごとに、拡大での表示と標準での表示が変化します。

(標準表示)

CD 1 0:03

(拡大表示)

CD 1

お知らせ

次のときは、表示選択に関わらず拡大表示されます。

- 「**HELLO、SEE YOU**」表示
- 時計表示
- ソース(音源)を切り換えたときのソース名表示
- 録音開始直後の「ソース→録音先」表示
- 録音終了表示

次のときは、拡大表示されません。

- カタカナ表示
- 2行合わせて意味を成す表示
  例 :REC REMAIN表示
  PAUSE中表示
  カラーモード表示

一時的に時計表示を見たいとき

本体の[時計表示/スヌーズ]を押す

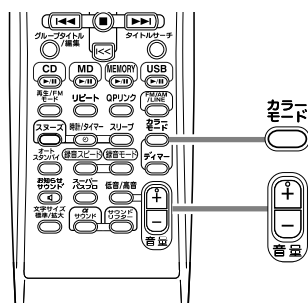
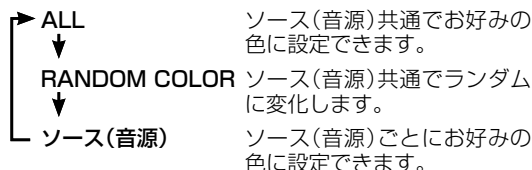
13:15 SAT.

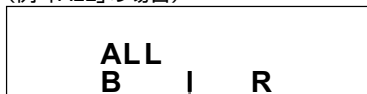
- 約5秒間表示します。

カラーモードを変える

表示窓をお好みの色に変えることができます。

 を押して選び 音量 を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

ALL	ソース(音源)共通でお好みの色に設定できます。
RANDOM COLOR	ソース(音源)共通でランダムに変化します。
ソース(音源)	ソース(音源)ごとにお好みの色に設定できます。

- 「**ALL**」および「**ソース(音源)**」を選んだときは、**[音量]**を押してお好みの色に調節します。

(例:「ALL」の場合)

[音量]を押すとバーが左右に移動し、色が変わります。

- 「**ソース(音源)**」ごとに設定するときは、ソース(音源)を選んでから操作してください。
- 本体のときは**[カラー/デモ]**を押して、**[音量つまみ]**を回して調節します。

ご注意

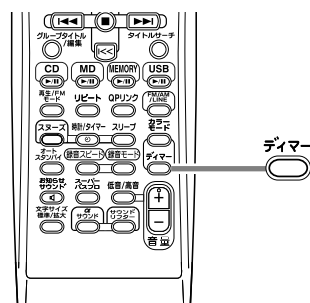
- 設定した照明の色は、いつも正確に同じ色になるとは限りません。本機の使用環境(室内温度など)や長期間の使用による変化などのため、色合いが異なって見えることがあります。

お知らせ

- RD-M2-S、RD-M2-H、RD-M2-PとRD-M2-Wは表示窓の色が異なります。
  RD-M2-S、RD-M2-H、RD-M2-P:青/赤
  RD-M2-W:アンバー/緑

明るさを変える(ディマー機能)

表示窓の明るさを変えることができます。

ディマー を押す

- 押すごとに次のように切り換わります。

DIMMER 1 : やや暗くなる
↓
DIMMER 2 : さらに暗くなる
↓
DIMMER OFF : ディマー解除
(お買い上げ時の設定)

お知らせ

- カラーモードが「**RANDOM COLOR**」のときは、自動的に「**DIMMER OFF**」になります。また、ディマーの設定もできません。

チャイルドロック

CDやMDが取り出せないようにできます。小さなお子様のいたずら防止に便利です。

電源「切」のときに

本体の ■ を押しながら本体の ▲CD を押す

LOCKED

- 電源「**切**」のときに本体の**[CD(▲)]**または**[MD(▲)]**を押すと、「**LOCKED**」と表示され、電源は入りません。

チャイルドロックを解除するには

もう一度、上記の操作をする

UNLOCKED

はじめに 準備 基本操作 聞く 録音する 編集する 便利な機能 その他

再生できるディスク、ファイル、USB機器について

再生できるディスク、ファイル、USB機器について

本機で再生可能なディスク、ファイル、USB機器は、次のとおりです。

ディスク

再生可能ディスク：音楽CD、CD-R/CD-RW
再生可能ファイル：MP3、WMA

- ファイル転送レート128 kbpsで作成されたMP3ファイル、転送レート64 kbpsで作成されたWMAファイルを推奨します。
- ディスクの読み取りにかかる時間は、記録されたグループやファイルの数によって異なります。
- ディスクの特性や記録状態によっては、再生できない場合があります。
- マルチセッションで記録されたディスクも再生できます。
- タグ情報(ID3-Tag、WMA-Tag)に対応しています。タグ情報は表示窓に表示されます。

USB

再生可能な機器：デジタルオーディオプレーヤーまたはUSBフラッシュメモリー（USBマスストレージクラス規格対応）
再生可能ファイル：MP3、WMA、WAV

- USBマスストレージ対応のデジタルオーディオプレーヤーでも機器によっては、再生までに時間がかかる場合や、再生できない場合があります。
- USBカードリーダー、USBハブには対応していません。
- デジタルオーディオプレーヤーからボイス録音したADPCM方式のWAVファイルには、対応していません。

メモリー

再生可能ファイル：MP3、WMA、WAV

WMA-DRMには対応していません。
MP3iやMP3 PROファイルは再生できません。

ご注意

ファイル、グループを作成するときは

- 正しい拡張子を付けてください(大文字小文字の混在も可)。
  MP3ファイル「.MP3」「.mp3」
  WMAファイル「.WMA」「.wma」
  WAVファイル「.WAV」「.wav」
- ファイル/グループ名には半角英数字のみを使用してください。

再生対応フォーマット*1について

本機では、次のフォーマットに対応しています。

CD-R/CD-RW

MP3 ：8 kbps～320 kbps、8 kHz～48 kHz、VBR
WMA ：32 kbps～192 kbps

メモリー/ＵＳＢ

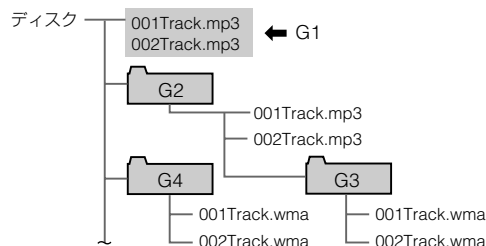
MP3 ：8 kbps～320 kbps、8 kHz～48 kHz、VBR
WMA ：8 kbps～320 kbps、8 kHz～48 kHz、VBR
WAV ：16 bit、リニアPCM、8 kHz～48 kHz

*1 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR:可変ビットレート

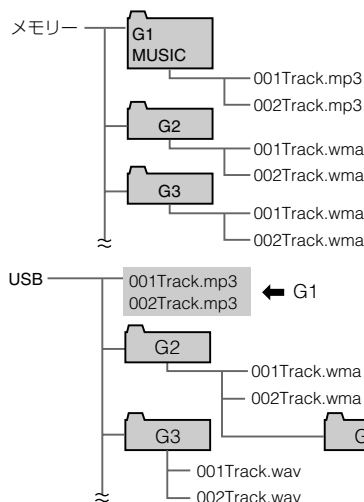
ファイル(曲)/フォルダ(グループ)について

本書ではフォルダを「グループ」と呼んでいます。

■ **本機が1枚のCD-R/CD-RWで識別再生できる曲数とグループ数**

最大曲数　：413
最大グループ数　：99

■ **本機のメモリーまたはUSBで録音可能な曲数と作成可能なグループ数**

最大曲数　：999
最大グループ数　：99
1つのグループに録音可能な最大曲数　：255

- 曲タイトルがある場合は、「.mp3」、「.wma」、「.wav」の前に表示されます。
- 空のグループや再生できるファイルが入っていないグループも1つのグループとして数えるため、最大グループ数が99以下になる場合もあります。
- USB機器は再生できるファイルがどのグループにも含まれないときは、そのファイルはG1 MUSICとして扱われます。
- USB機器に録音するときは、曲タイトルやグループタイトルの長さによりG1 MUSICに録音できる曲数が255以下になったり、最大グループ数が99以下になる場合もあります。

- WMA (Windows Media Audio) Microsoft,Windows Media は、米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
  WMA（Windows Media™ Audio）とは米国Microsoft Corporation で開発された圧縮フォーマットです。これによりMP3 より小さいファイルサイズで同等の音質が実現できます。

XA-C109/XA-C59を接続すると

USB

本機と当社製デジタルオーディオプレーヤーXA-C109またはXA-C59（以下XA-C109/C59）をUSB接続すると、次のことができます。

- XA-C109/C59で聞きたい曲を選んで、すぐに本機で再生できます。
- XA-C109/C59で設定したリピートモードが本機でも設定されます。

準備
- XA-C109/XA-C59側の操作についてはXA-C109/XA-C59の取扱説明をご覧ください。

XA-C109/C59の音声を聞く

1 XA-C109/XA-C59の電源を「入」にする

2 XA-C109/C59で聞きたい再生リスト（曲）を選んで再生する

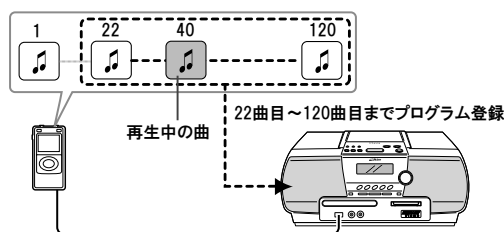
3 XA-C109/C59を本機に接続する
- 「USB端子の接続」（☞**10**）

4 USB ►/II を押す

XA-C109/C59で選んだ曲の頭から、本機で再生が始まります。

XA-C109/C59が停止状態で接続したときは、停止する前に聞いていた曲の頭から、本機で再生が始まります。

- 本機は自動的に**プログラム再生**になり表示窓に「PRGM」が点灯します。再生中の曲を含む再生リスト（最大99曲）が自動で本機にプログラム登録されます。

例）再生中の曲から後ろの最大99曲がプログラム登録されます。
再生中の曲から最後の曲までが最大99曲にならない場合は、前の曲を含む最大99曲がプログラム登録されます。

リピートモードについて

XA-C109/C59でリピートモードを設定して接続すると、本機は自動的にリピート再生になります。本機でリピートモードを変更することもできます。（☞**18**）

XA-C109/C59リピートモード	RD-M2側表示
「1曲リピート」	REPEAT TRACK / ⮌
「全てリピート」	REPEAT ALL / ⮌ ALL

■ **プログラム再生以外の操作（☞18～21）をするには、本機でプログラム再生を解除してください。**
1. 本機の[■]を押して停止状態にする
2. 表示窓をソース（音源）表示にする
   - [再生/FMモード]を繰り返し押すと、押すごとに切り換わります。

→ USB RANDOM → USB GROUP RANDOM → USB GROUP → ソース（音源）表示 → USB PROGRAM →（USB RANDOMへ戻る）

表示窓

USB	現在のグループ番号	曲番号
		停止した曲の総再生時間

XA-C109/C59の接続を外すには

ソース（音源）をUSBにして本機の表示窓の表示を確認してください。

■ **表示窓に「PRGM」が表示されているとき**
1. 本機の[■]を押して停止状態にする
2. 本機の表示窓に「PLEASE WAIT」が表示されるまで本機の[■]を長押しする
3. 本機の表示窓に「DISCONNECT OK」と表示されたらUSBケーブルを外す
   - 上記の手順で外したXA-C109/C59を再生すると本機で停止した位置から再生が始まります。
   - 本機側でプログラムした内容はXA-C109/C59へ一時的に反映されます。XA-C109/C59で曲を選び直すとプログラム内容は削除されます。

■ **表示窓に「PRGM」が表示されていないとき**
1. 本機の[■]を押して停止状態にする
2. USBケーブルを外す

制約について

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープなどとは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。 曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。 (録音可能な最大トラック数は254曲まで)
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作を繰り返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて時間の短い部分(SP：8秒以下、LP2：16秒以下、LP4：32秒以下)ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音時間のモードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。 デジタル録音した曲とアナログ録音した曲も「JOIN」でつなげることはできません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でもSP:12秒、LP2:24秒、LP4:48秒の連続したスペースがないと録音できません。そのため､短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

倍速録音に関して(HCMS)

MD、メモリーおよびUSB接続した機器は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。本機では、CDから一度倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の二度目の倍速録音はできません。

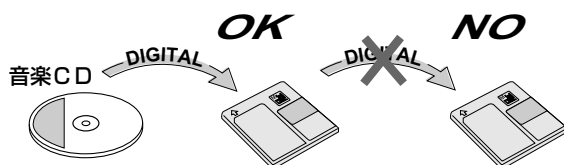
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMD、メモリーまたはUSB接続した機器に倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音をすることができます。

SCMS (Serial Copy Management System)

(シリアル コピー マネージメント システム)

CDのクリアな音を他のデジタル機器(MD、メモリー、USBなど)にデジタル録音した場合、一度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメントシステム)といいます。シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03－5353－0336(代)

ご注意

- たとえば、この規定により一度デジタル録音されたMDからは、他のMDへデジタル録音することはできません。
- CD-R/CD-RWはアナログ信号に変換後、録音されます。

使用上のご注意

本機の置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

- 湿気やほこりの多い所
- バランスの悪い不安定な所
- 熱器具の近く
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 風通しの悪い狭い場所
- 直射日光の当たる所
- 極端に寒い所
- 振動の激しい所
- テレビや他のアンプ、チューナーのそば
- 磁気を発生する所

ご注意

本機の使用環境温度は、5℃ ～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

露、水滴がついたら

次のようなとき、本機内部のレンズに露、水滴が付いて正しく再生できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 寒い所から急に暖かい部屋に移動したとき

このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

本体の清掃

パネル操作面が汚れたら柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、水で布をしめらすか、中性洗剤を少し布に付けてふき、あとからからぶきしてください。

ご注意

シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

- ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

CDとCD-R/CD-RWについて

CDについているマークを確認して

文字のある面に、 **、** **または**

のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

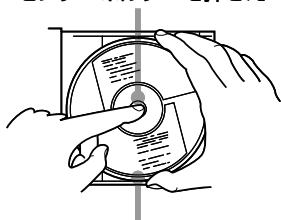
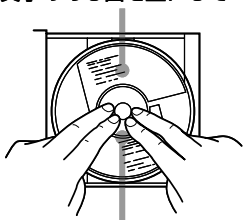
お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- CD-R/CD-RWディスクを作成するときは、ディスクフォーマットを「ISO 9660」にしてください。また、パケットライト方式(UDFフォーマット)は使用しないでください。
- 音楽用のCDフォーマットおよびMP3/WMAフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが再生できます。ただし、ディスクの特性·記録状態·傷·汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- CDテキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

CD、MDの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

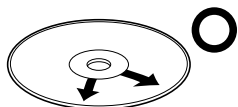
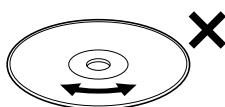
- ケースからの出し入れ

センターホルダーを押さえ

再生面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

上から押さえて入れる。

- CDにテープやシールなどを張ったり字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。
- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

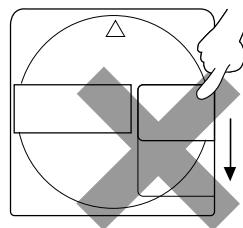
CDのお手入れ

ほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- **シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。**

MDの取り扱いかた

シャッターは開けないで

無理に開けようとするとMDがこわれます。

置き場所に気をつけて

次のようなところには置かないでください。

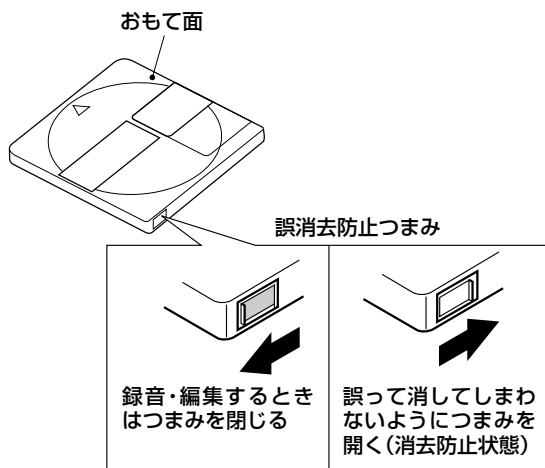
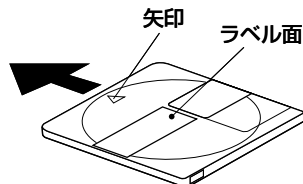
- 直射日光が当たるところや車の中など温度の高いところ
- 風呂場など湿気の多いところ
- 海辺や砂場など、砂ぼこりが多いところ

ディスクが反ったり、汚れやキズなどで使えなくなる原因となります。

定期的にお手入れを

MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってから使用してください。

大切な録音を消さないために

録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。

- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置には張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ▷ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

故障かな？と思ったら – 修理に出す前にもう一度お確かめください。–

	症　　状	原　　因	処置・確認のしかた	参照ページ
共通部	音がでない。	● ヘッドホンがつながれている。	● ヘッドホンのプラグを抜く。	9
	表示窓の時刻と曜日表示が点滅している。	● 20分以上の停電があったため。または電源コードを抜いたため。	● 時計合わせやタイマーの予約をし直す。	12
CDプレーヤー部	演奏が始まらない。	● CDが裏返しに入っている。	● 文字のある面が上になるように正しく入れる。	16
		● レンズに露がついている。	● 電源を入れたまま、1～2時間待ち乾いてから使う。	63
	音飛びがする。	● CDにキズがある。	● CDを交換する。	-
MDレコーダー部	演奏が始まらない。	● レンズに露がついている。	● 電源を入れたまま、1～2時間待ち乾いてから使う。	63
	倍速録音ができない。	● CDのプログラム再生、ランダム再生になっている。	● [再生/FMモード]を押してプログラム再生、ランダム再生を解除する。	19 20
	編集操作ができない。	● 再生モード(PRGM、RANDOMまたはGROUP)がオンになっている。	● [再生/FMモード]を押して再生モードを解除する。	19
チューナー部	雑音が多くて放送がうまく受信できない。	● アンテナの調節が不充分。	● アンテナの調節をし直す。または本機の設置場所を変える。	9
		● AMループアンテナ線の接続が違う。	● 白線側を[AM EXT]側に接続する。	9
タイマー部	タイマーがスタートしない。	● 電源が「入」になっている。 ● 現在時刻と曜日が合っていない。	● 電源を「切」にする。 ● 正しい時刻と曜日に設定し直す。	13 12
		● タイマー表示(⊕)とタイマー番号(1～4)が表示されていない。	● [時計／タイマー]を押してタイマー表示(⊕)とタイマー番号(1～4)を表示させ、再設定する。	54 56
リモコン	リモコン操作ができない。	● リモコンの乾電池が消耗している。	● 新しい乾電池(単3形)と交換する。	8
		● リモコン受光部に直射日光などの強い光が当たっている。	● 直射日光や照明器具などの強い光が当たらない所で操作する。	63

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは**

本機はマイコンの働きで、多くの動作を行なっております。万一どのボタンを押してもうまく動作しないときは、一度電源コードをはずし、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと時計合わせやタイマー予約をし直してください。

● 大切な録音の場合は、必ず事前に試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。

お願い

● 本機の故障または不具合等により録音・再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

故障かな？と思ったら(つづき)

● メッセージ一覧表(MD、CD、メモリー、USBのとき)

メッセージ	意　　味	処　　置
CANNOT REC NORMAL ONLY	倍速録音ができない。 倍速録音に失敗した。	等速録音にしてください。
HCMS CANNOT COPY	倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再び倍速録音しようとした。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上待つかまたは等速録音にしてください。
SCMS CANNOT COPY	デジタルのコピーのコピーを作ろうとした。	アナログ録音してください。 (☞**26**、**62**)

● メッセージ一覧表(MDおよびCDのとき)

メッセージ	意　　味	処　　置
BLANK DISC	何も録音されていないMDが入っている。	————
CANNOT JOIN	MDのシステム上の制約です。	「**MDの制約について**」をご覧ください。 (☞**62**)
	離れているグループをつなげようとした。	となりあうグループとつなげてください。 (☞**47**)
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量･音質調節をしようとした。	倍速録音中は、CDの再生音が出ません。 終わるまで待ってください。
CANNOT TITLE	MDに入力できる文字数(合計で1793文字)を越えている。	1793文字以下にしてください。
CD NO DISC	再生できないディスク(DVDディスク、ファイナライズされていないCD-R/CD-RWディスク、再生可能なファイルが記録されていないCD-R/CD-RWディスク、何も記録されていないCD-R/CD-RWディスク)が入っている。	本機はDVDディスクには対応していません。ファイナライズされたCD-R/CD-RWディスク、または再生可能なファイル(☞**60**)が記録されたCD-R/CD-RWディスクに取り換えてください。
DISC FULL	MDの空き時間が足りない。 曲番号が254を超えている。 (254曲まで録音可能)	他の録音用MDと取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみをずらし、穴の閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	異常が発生した。	電源を入れ直してください。
GROUP TRACK	すでにグループに登録されている曲を選んでグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでグループを作成してください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
NON AUDIO CANNOT COPY	CD-ROM(ビデオCDなど)をデジタルダビングしようとした。	録音を中止してください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音･編集しようとした。	録音用MDと取り換えてください。
READ ERROR	MDが異常(損傷している)。	MDを取り換えてください。
TRACK PROTECTED	他の機器でDIVIDE、JOINまたは消去ができないようになっている。	本機では解除できません。録音した機器で編集操作してください。

● メッセージ一覧表(メモリーおよびUSBのとき)

メッセージ	意　味	処　置
CANNOT FORM GROUP	グループの作成ができない。 (データが壊れている可能性がある)	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止スイッチを切り換えてください。
CANNOT MOVE	曲の移動ができない。 (データが壊れている可能性がある)	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止スイッチを切り換えてください。
CANNOT ERASE	曲の削除ができない。 (データが壊れている可能性がある)	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止スイッチを切り換えてください。
CANNOT TITLE	タイトル編集ができない。 (データが壊れている可能性がある)	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止スイッチを切り換えてください。
DATA FULL	空き時間が足りない。	不要な曲を削除してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止スイッチを切り換えてください。
DEVICE ERR.	本機で録音、再生ができないUSB接続機器のとき。	フォーマットを行うと、本機で録音、再生ができるようになる場合があります。ただし、USB接続機器内のデータはすべてなくなります。 USB接続機器を取り換えてください。
FORMAT ERROR	フォーマットができない。 (データが壊れている可能性がある)	電源を入れ直してください。
	USB接続機器が書き込み禁止状態になっている。	書き込み禁止スイッチを切り換えてください。
GROUP FULL	グループ数が99を超えた。	本機で作成できるグループ数は99までです。グループを削除してください。
MEM NO DATA	内蔵メモリーに何も記録されていない。	—
NO USB	USB接続されていない。	USB機器を接続してください。
SAME TITLE EXIST	同名のタイトルがある。	タイトルを変更してください。
TRACK FULL	曲番号が999を超えている。 (999曲まで録音可能) 1つのグループの曲番号が最大数を越えている。 (**「再生できるディスク、ファイル、USB機器について」☞*60***)	曲を削除してください。
TRACK PROTECTED	他の機器で編集できないようになっている。	本機では操作できません。録音した機器で編集操作してください。
USB NO DATA	USB接続機器に音楽ファイルが入っていない。	—

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保　証　書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

CD-MDポータブルシステム補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または***69*ページの「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　持込修理

***65*ページの「故障かな？と思ったら」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは、使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDやMDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎（　　　　）　　　－

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきましては、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記のとおり、お取り扱いいたします。

- お客様の個人情報は、お問い合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。
- お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間保管させていただきます。
- 次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。
  - ① 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。
  - ② 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。
- お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

別売のオプション品

・ヘ ッ ド ホ ン：**HP-S35**
・電 源 コ ー ド：**CN-325A**（長さ1.8m）
・接 続 コ ー ド：**CN-203A**（**LINE**端子の接続用）
・ＭＤレンズクリーナー：**CL-MLA**
・ＦＭフィーダーアンテナ：**CN-511A**（**300Ω**）
（アンテナコネクター：**VZ-71A**と一緒に使います）
・アンテナコネクター：**VZ-71A**（**75Ω/300Ω**）

- 別売のオプション品はお買い上げの販売店でお求めください。品番は変更されることがあります。
- この製品の製造時期は本体の裏面に表示されています。

ビクターサービス窓口案内（ビクターサービスエンジニアリング株式会社）

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北海道		
北海道	札幌 S.C.	(011) 898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166) 61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157) 25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154) 24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155) 24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北		
青森	青森 S.C.	(017) 723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178) 44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172) 28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019) 637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
	水沢 S.S.	(0197) 22-2773	奥州市水沢区天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018) 824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186) 43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022) 287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.C.	(023) 642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234) 26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024) 952-6331	郡山市堤1-3
	関東・甲信越		
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042) 646-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.S.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	東海		
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市駿河区中田本町62-31 中田ビル1F
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(059) 352-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18
	北陸		
富山	富山 S.S.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
	近畿		
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.S.	(0742)35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30三宮国際ビル1F
兵庫西部	姫路 S.S.	(079) 234-3833	姫路市中地南町11-1
	中国		
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	山口市小郡花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
島根	松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国		
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄		
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.C.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。　0706

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。

主な仕様 ー本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。ー

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム MP3、WMA
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2チャンネル･ステレオ
周波数特性	20 Hz～20 kHz

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間	録音時間のモード SP ：80分 LP2 ：160分 LP4 ：320分 （MD80使用時）
サンプリング周波数	44.1 kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3（MD LP）方式
チャンネル数	2チャンネル･ステレオ
周波数特性	20 Hz～20 kHz

チューナー部

受信周波数	FM：76.0 MHz ～108.0 MHz AM：531 kHz～1,629 kHz
アンテナ	FM：75 Ω不平衡型／ロッドアンテナ AM：ループアンテナ

内蔵メモリー部

形式	フラッシュメモリー
容量	512 MB
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV（リニアPCM）
音声圧縮録音方式	MP3
ビットレート	録音時間のモードSP192： 192 kbpsのビットレート （1曲4分として約80曲） 録音時間のモードSP128： 128 kbpsのビットレート （1曲4分として約125曲） 録音時間のモードLP： 64 kbpsのビットレート （1曲4分として約250曲）

USB部

USB端子	USB Ver.1.1
形式	USBマスストレージクラス規格
ファイルシステム	FAT/FAT32（NTFSには対応していません）
音声圧縮再生方式	MP3、WMA、WAV
音声圧縮録音方式	MP3
USB出力電源	5 V/500 mA（最大）

タイマー部

タイマー形式	4プログラム動作（オン･オフタイマー） （WEEKLY/ONCE切換可能）
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分 （ディマー機能付）
時計表示	24時間表示

共通部

スピーカー	8cm（丸形×2）、4Ω
入力端子	LINE IN（φ3.5ステレオミニ×1） 500 mV/47 kΩ：LEVEL1 250 mV/47 kΩ：LEVEL2 125 mV/47 kΩ：LEVEL3
出力端子	LINE OUT（φ3.5ステレオミニ×1） 250 mV/2.5 kΩ PHONES（φ3.5ステレオミニ×1） 15 mW ＋15 mW / 32 Ω 適合インピーダンス16 Ω～1 kΩ
実用最大出力	5 W＋5 W（JEITA/AC）
電源	AC100 V（50 Hz/60 Hz共用）
消費電力	電源 入（ON）時38 W 切（STANDBY）時0.9 W
最大外形寸法	幅460 ㎜×高さ188 ㎜×奥行 268㎜
質量	約5.6 kg

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- ・本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

再生対応フォーマット*1

CD-R/CD-RW
MP3 ：8 kbps～320 kbps、8 kHz～48 kHz、VBR
WMA ：32 kbps～192 kbps

メモリー/USB
MP3 ：8 kbps～320 kbps、8 kHz～48 kHz、VBR
WMA ：8 kbps～320 kbps、8 kHz～48 kHz、VBR
WAV ：16 bit、リニアPCM、8 kHz～48 kHz

*1 サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。
VBR：可変ビットレート

索引

数字

アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ハ行

マ行

ラ行

ユーザー登録およびアンケートのお願い

このたびは、ビクター製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
今後のよりよい製品の開発に反映させるために、ユーザー登録およびアンケートにご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

http://www.victor.co.jp/reg/audio/

ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
69ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120−2828−17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は **電話（045）450−8950** **FAX（045）450−2275** 〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

●ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、***68*** ページをご覧ください。

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0706NYMSANJEM